

## 名田荘の伝領と関係文書群の形成

—付・名田荘関係文書目録（稿）—

杉山 巖

### はじめに

若狭国名田荘は、京より周山街道を北上し丹波国を経て若狭に入つたまさに国境の山間部に位置する荘園である。同荘については、つとに清水三男氏によりその成立・伝領や村落構造についてその概観が示され、次いで名の構造を分析した渡辺澄夫氏により山間部に成立した均等名荘園であることが指摘された。また近年では、白水智氏が山間部の村落の生産・流通の実態を明らかにする研究の中で名田荘を大きく取り上げたことにより、林業をはじめとする同荘の生産構造が明らかにされつつある。

東京大学・大学院人文社会系研究科・演習「中世古文書論」（担当教員＝保立道久）では、二〇〇五年度の研究史料として名田荘関係文書を取り上げ順次その読解を進めてきた。筆者も碩学綺羅の如きその講演の末座に待して関係文書の目録を作成したので、はなはだ蕪雑な

ものではあるがここにその稿本を掲げるものである。

そこで、名田荘関係文書の伝来の経緯について概観することにより、目録の解説にかえることとする。

名田荘の関係文書は、三つの大きな文書群として現在に伝えられており、各文書群の形成は名田荘それ自体の伝領と密接に関わっている。一つは、①徳禅寺に所蔵されている、またはかつては所蔵されていた文書からなる公義の「大徳寺文書」である。いま一つは、②名田荘のうち須恵野村を相伝した醍醐寺三宝院に残された文書であり、さらに③上村を相伝した陰陽道の土御門家及びその家司若杉家に伝えられた文書群がある。名田荘関係文書は、これら三つの文書群を中心として、さらに一時的に名田荘内の所職を領有した領主のもとに残された文書と若狭国の在地に残された文書の総体ということが出来る。

本稿では、名田荘の伝領関係を整理しながら名田荘関係文書群が如何にして形成され、今日に伝来したのかを探りつつ、文書目録を示すこととしたい。

それではまず、惣荘の伝領関係を追いながら、「大徳寺文書」として伝えられている名田荘関係文書群が如何にして形成されたのか、章を改めて考えることとする。

(1) 清水三男「若狭国名田荘」(同『日本中世の村落』、日本評論社、一九四二年。のちに『清水三男著作集』第二巻、校倉書房、一九七四年に再録)。

(2) 渡辺澄夫「徳禪寺領若狭国名田庄」(同『増訂 畿内庄園の基礎構造』上、吉川弘文館、一九六九年)。

(3) 名田荘に関する専論としては、同「ある山間庄園の生業と外部交流―若狭国名田荘の場合―」(『民衆史研究』三九、一九九〇年)があり、また近著『知られざる日本―山村の語る歴史世界―』(日本放送出版協会、二〇〇五年)においても名田荘の生産・流通構造についてまとめられている。

## 一 惣荘の伝領と「大徳寺文書」

名田荘関係文書を今日最も多く伝えている文書群は、いわゆる「大徳寺文書」である。すでに保立道久氏が指摘しているように、公義の「大徳寺文書」という呼称は、現在大徳寺の本坊に伝わっている文書群―狭義の大徳寺文書―と諸塔頭に伝来した文書の総体を指す呼称である<sup>1</sup>が、そのうち名田荘関係文書を含むものは次の三件である。

①大徳寺本坊文書 ②真珠庵文書 ③徳禪寺襖裏文書

これらのうち①は現在大徳寺の本坊に所蔵されている文書群である。東京大学史料編纂所では、一八八七年(明治二十)に当時の内閣臨時修史局がはじめてその所蔵史料を採訪して以来数次にわたる調査を行

い、その成果は『大日本古文书 家わけ第十七』大徳寺文書之一―十四(一九四三―八五年)として結実している。これらの文書に編纂外の文書を加えた四千二百六十七通と文書袋・文書箱が二〇〇五年三月に国の重要文化財に指定された<sup>2</sup>。

それでは、現在①大徳寺本坊文書として伝来している名田荘関係文書は、どのような性格のものであるのか。それを解く手掛かりを与えてくれるのが、同じく史料編纂所に架蔵されている影写本『徳禪寺文書』(全四冊)<sup>3</sup>である。影写本『徳禪寺文書』の奥書によれば、正伝庵法度置文・徳禪寺住持行事・徳禪寺法度を収める第四冊を除き、文書を載録する第一冊から第三冊はいずれも一八八七年に作成されたものである。その細目は、本稿末尾の【別表】「東京大学史料編纂所所蔵(影写本)『徳禪寺文書』(全四冊)所収文書目録」として掲げておいたが、それによると次のことが知られる。すなわち、現在大徳寺の本坊文書として伝来している文書の一部(二・三・四)は少なくともこの影写本が作成された一八八七年までは徳禪寺に所蔵されていたものであり、それには一五四点の名田荘関係文書を含んでいる。すなわち、今日日本坊文書として伝えられている名田荘関係文書の多くは、本来徳禪寺に伝来した文書群であり、影写本『徳禪寺文書』が作成された一八八七年以後、前掲・大日本古文书の刊行の前提となる調査が相田二郎氏によりなされた一九四〇年<sup>4</sup>以前に本坊に移管されたものと考えることができるだろう。

次に、②真珠庵文書は、現在大徳寺の塔頭真珠庵に伝えられている文書で、『大日本古文书家わけ第十七 大徳寺文書』別集として翻刻されつつある(既刊六冊)。真珠庵は永享年間(一四二九―四一)に一休宗純を開祖として創建されたものである<sup>5</sup>。真珠庵文書として現在

に伝えられている名田荘関係文書群についても、先に述べた本坊文書と同様、本来は徳禪寺に伝来したものと考えられる。

また、③徳禪寺襖裏文書は、一九八四年から八八年にかけて徳禪寺方丈の襖絵の修理がなされた際、その下張りから見出された文書群であり、<sup>(6)</sup>昨年度から東京大学史料編纂所において原本と写真帳について改めて調査が行われている。徳禪寺は、大徳寺第二世の徹翁義亨（一二九五—一三六九）の塔所として建てられたもので、現在の方丈は慶長年間に再興されたものである。襖裏より見出された文書の下限は慶長年間であり、一方この襖絵は狩野探幽の作になるもので、その制作年代は寛永十五年（一六三八）より寛文二年（一六六二）の間と考えられていることから、襖を製作する際に廃棄された文書であると考えられる。<sup>(7)</sup>この文書群に含まれる名田荘関係史料については、福井県史編纂の過程で写真版にもとづく調査がなされ、その成果は白水智氏により公にされているが、<sup>(8)</sup>今日の研究段階から再検討すべき個所も残されている。

以上のように、今日広義の「大徳寺文書」として伝来している①、②、③の文書群は、本来的には徳禪寺に伝来した文書ということができるのである。

それでは、徳禪寺に名田荘関係文書が多く伝えられたのは何故であろうか。それは、名田荘惣荘の伝領とも深く関わる問題であり、限られた紙幅のなかで平安末期から南北朝期にいたる複雑な相伝の経過を詳述することは困難であるが、文書の伝来を考える上で避けられない問題であるからその概観を示しておくこととする。

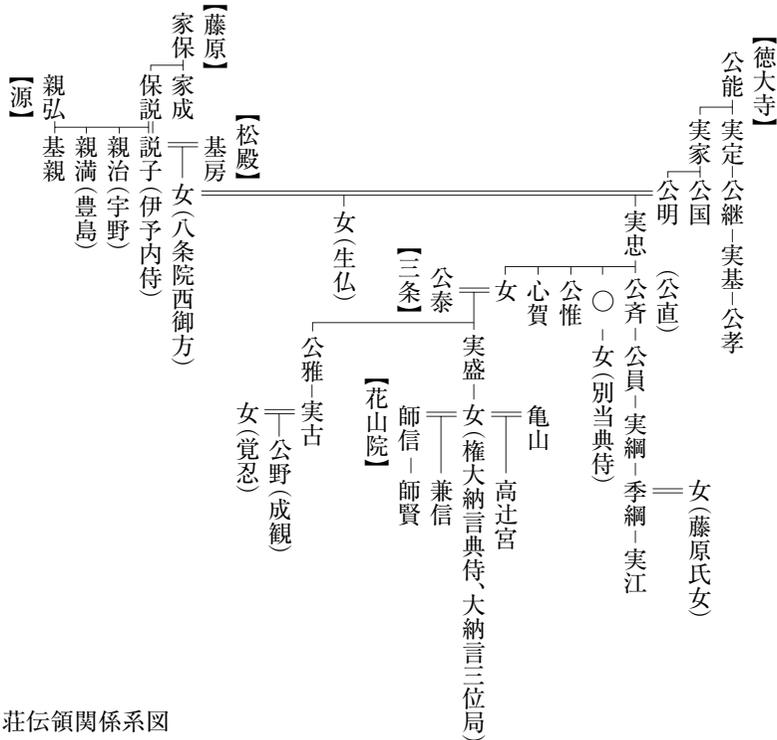
徳禪寺文書として伝えられた名田荘関係文書の性格は、大きく次の四つに大別することができる。一つは、(a) 徳禪寺襖裏文書に残さ

れた平安期の文書を中核とする形成期の名田郷にかかわる文書群、いま一つは、(b) 鎌倉後期より南北朝期にかけて展開された相論の過程で作成され、蓄積された文書群、さらに(c) 惣荘の中核部分を覚円（花山院兼信）より寄進された徳禪寺の徹翁義亨が一方で相論を展開しつつ別相伝となっていた所職を集積していく動きの中で伝来した文書、(d) 戦国期、若狭武田氏やその家臣と徳禪寺との交渉を示す文書群である。

以下、名田荘の形成と伝領の経緯を概観しつつ、文書群(a) (d)の形成について述べていきたい。

名田荘は、平清盛の腹心の家人平盛信に寄進された名田郷を基盤として形成されたもので、山間部の野を開発しつつ一一六〇年頃に成立した所領である。<sup>(9)</sup>盛信はその後撰津守に補任されて同国内に基盤を移し、名田郷は藤原説子の所領撰津国野間荘と相博されることとなった。<sup>(10)</sup>(a)はこの相博にともない集積された文書群と考えられ、徳禪寺襖裏文書中の永暦二年三月六日「若狭国留守所下文」以下五通の文書は手継証文の形になっており、紙継目には「盛」字の草体を記号化したものと思われる裏花押が据えられている。相博に先立ち、平盛信が手継証文を作成し、相博状とともに藤原説子に渡したものである。盛信より名田郷を継承した説子は、撰津国豊島を本拠とした武士源親弘の娘として生まれ、鳥羽院の近臣藤原家成の弟保説の養女となったことから宮廷社会で活動し、二条・六条・高倉の三代にわたって内侍として仕えた女性であり、その所領となった名田郷が蓮華王院領として立荘されたのは、仁安三年（一一六八）から嘉応元年（一一六九）のことと推定される。<sup>(11)</sup>

藤原説子の寄進により蓮華王院を本家と仰ぐこととなった名田荘は、



【系図】 名田荘伝領関係系図

その後説子の娘（八条院の女房西御方）を経てその息藤原実忠へと伝えられた（系図参照）。しかし、須恵野村・井上村については、実忠の姉妹である生仏に譲られ、別相伝を生じることとなる。このうち須恵野村をめぐる動きについては、次章において述べる。

実忠に譲られた名田の中核部分は、上村・坂本村・下村・田村・中村・知見村・三重村であったが、実忠は建治三年（一二五一）八月これらの所領を外孫三条実盛に譲与した<sup>(13)</sup>。しかし、文永四年（一二六七）十二月廿六日に至り、実忠はこのうち知見村を孫娘の別当典侍に改めて譲り、知見村に対して以後は干渉しない旨の証判を三条実盛とその母よりとっている<sup>(14)</sup>。別当典侍は知見村を従兄弟に当る藤原公員に譲ったものの、公員が先に死去したので改めて公員の息季綱に譲り与えた<sup>(15)</sup>。ここに、知見村の帰属をめぐる相論が展開される原因が形成された。すなわち、知見村を譲られた別当典侍その所職を継承した大炊御門実綱・季綱の流れは、知見村は惣荘には属さない別相伝であると主張し、一方三条実盛の所職を継承したその娘権大納言典侍・花山院兼信らは知見村も惣荘の内として権利を主張した。鎌倉から南北朝期の相論関係文書群（b）の一部は、この両者の相論の過程で形成されたものである。

また、相論を生ずる契機として、所領の売買や質入などの経済活動があることも見逃せない側面である。名田荘について、売買により相論を生じた比較的早い事例として、徳禅寺襖裏文書に残されている永仁五年閏十月に出された「関東下知状」がある。三条実盛家の雑掌康綱の主張によれば、三条実盛は弘安二年（一二七九）四月、直銭千貫で名田荘田村を塩谷盛朝に売却した。しかし、盛朝は関東御家人であ

り、本所領を知行することができないので、同六年「京都住人藤原氏」に田村を売却したとみせて知行権を掌握していたという。そして「沽却の地においては本主に付くべき」ことを命じたいわゆる永仁徳政令の発布を受けて、三条実盛は田村の知行権を回復すべく幕府に訴えたのである。一方、盛朝は弘安六年に藤原氏に田村を売却して後は名田荘に一切干渉していない旨を主張し、藤原氏は盛朝より買得した田村を後福昌寺に寄進、その後三条実盛の叔父公斉が田村は質流れ地であるとして不当にも安堵の院宣を賜ったので自らも院に申し入れ、安堵の院宣を受けていると主張した。三条家の訴えを受けた幕府は、結果「盛朝最初の買主たるにより、関東より本主に沙汰し付くべきの条異儀に及ばず」として、田村の知行権を三条実盛に返付する裁定を下している。また、(年未詳)七月五日「別当典侍局置文案」によれば、別当典侍は知見村に関わる文書を「かすか町に候つちくら」に預け置いたところ、乳母子守寛の子である行寛に盗み取られたという<sup>(16)</sup>。さらに、三条実盛は、田村を質物として入れ置いていたが、本銭三万疋を返却して請け出し権大納言三位局に譲っている<sup>(17)</sup>。これらの事例からは、京都の公家のもとより武家を含む都市貴族層が貨幣経済に否応無く巻き込まれていたことを示しており、三条実盛側が永仁の徳政令を根拠に所領の回収を図るなど、都市貴族相互が駆け引きを繰り広げていたものと考えられる。

このような都市貴族の経済活動を背景とする相論、さらには鎌倉後期から南北朝期の相論を経て、(b)の文書群が形成されていった。これらの名田荘関係文書が徳禪寺に伝わるもっとも直接的な契機となったのは、覚円(花山院兼信)がその相伝の所職を徳禪寺に寄進したことによるものである。覚円は文和二年(一三五三)正月廿三日、

名田荘のうち下村・田村の自家職を徳禪寺鎮守の春日大明神に、領家職を正伝庵に寄進した<sup>(18)</sup>。次いで延文四年十二月廿三日には、田村・下村ならびに同別納を徳禪寺に改めて寄進し、翌五年に「当時より御管領あり、当来の菩提を訪はしめ給ふべ」しとして、これらの所職は徳禪寺の管領するところとなった。この寄進により田村・下村の関係文書が徳禪寺にもたらされたものと考えられ、『大』一―三六七号延文元年閏四月日「若狭名田荘田村・下村両村文書目録」はこの権利の移動に際して覚円により作成されたものと考えられる。

一方、田村・下村を覚円より寄進された徳禪寺の徹翁義亨は、別相伝となっていた所職の回収に動いている。貞治二年(一三六三)十二月には井上村を相伝してきた藤原行清がその所領を徳禪寺塔頭正伝庵に寄進し、翌三年十月廿三日には「師資の契約有る依」として改めて寄進状を作成している。しかしこれは、同日付の売券の存在から銭五十貫文で文書とともに正伝庵に買い取られたものであることが知られ<sup>(19)</sup>、義亨の積極的な所職回収の動きを示すものである。一方知見村についても、貞治三年十二月廿三日に別当典侍の所職を女系を通じて相伝していた了浄が徳禪寺に対する寄進状を認めているが、井上村の事情を勘案するならばこれも同様に徳禪寺が買得した可能性を考えてもよからう。井上村・知見村の所職を回収した義亨は、同四年十一月廿九日付けの後光厳の論旨により寄附を認められた<sup>(21)</sup>。このように、田村・下村を覚円より寄進された義亨は、他の別相伝の所職を集積するとともに邦省親王家などとの相論を経て、徳禪寺領としての名田荘の支配を確かなものとしていった。その過程で、(c)の文書群が形成されたのである。

これらの(a)―(c)の文書群に、戦国期の若狭武田氏と徳禪寺

の交渉を示す書状群（d）を加えたものが、徳禪寺に伝来した名田莊  
関係文書群の性格である。その顕著な特質として、室町期の文書が数  
少ないことを指摘することができ、あるいは徳禪寺の襖裏文書の調査  
がさらに進めば若干の関係史料がさらに出現するかもしれない。いず  
れにせよ、徳禪寺領としての名田莊が室町期以後どのように展開した  
のかは今後の検討課題である。

- (1) 保立道久「だいとくじもんじょ」〔『国史大辞典』第八巻、一九  
八七年〕、同「大徳寺文書」〔『日本歴史』「古文書」総覧〕新人物  
往来社、一九九二年
- (2) 重要文化財の指定台帳として、『大徳寺文書目録』（文化庁文化  
財部美術工芸課、二〇〇五年）が刊行され、二〇〇二年度～二〇  
〇四年度科学研究費補助金基盤研究（A）（2）「禪宗寺院文書の  
古文書学的研究―宗教史と史料論のはざま―」（課題番号一四二  
〇一〇三二）研究成果報告書の付録としても刊行されている。こ  
の目録の作成過程により、大日本古文書の翻刻にも若干の改むべ  
き個所が見出されたが、さらに本稿の作成過程において補訂すべ  
き個所が見出されている。
- (3) 請求番号三〇七一・六二一八。
- (4) 一九四〇年の相田二郎による大徳寺文書の調査については、東  
京大学史料編纂所所蔵『史料蒐集復命書』五一冊（請求番号〇  
一七〇一一）。この調査を前提として、一九四三年に『大日本古  
文書 家わけ第十七』大徳寺文書之一が刊行された。
- (5) 東京大学史料編纂所所蔵謄写本『龍宝山大徳寺誌』（請求番号〇  
二〇一五―六〇〇、大徳寺原蔵）、同『龍宝山志』（請求番号〇二

〇一五―六〇一、大徳寺原蔵）。また川上貢『禪院の建築』（河原  
書店、一九六八年。中央公論美術出版より新訂版刊行、二〇〇五  
年）参照。

- (6) 田良島哲「襖・屏風の下張文書―その伝来と史料的价值をめぐって―」〔MUSEUM〕四七四、一九九一年。
- (7) 注（6）田良島論文二七頁。
- (8) 中世史部会『福井県史』資料編 中世史料 補遺、白水智  
「徳禪寺襖裏文書中の名田莊関係史料について」（ともに『福井県  
史研究』一〇、一九九一年）。
- (9) 徳禪寺襖裏文書（本目録一―（三）参照）。また『大日本古文書  
家わけ第十七』大徳寺文書別集真珠庵文書之六―八一六号（以  
下、『真』六一―八一六号のように略記）。なお、名田郷の形成から  
名田莊立荘に至る経緯とその史的位置付けについては、別稿を用  
意している。
- (10) 『大徳寺文書 家わけ第十七』大徳寺文書之一―三六四号（二）  
（以下、『大』一―三六四号（二）のように略記）。
- (11) 『真』六一―八一九号。
- (12) 『大』一―三四六号（二七）。
- (13) 『大』一―三四六号（一八）。
- (14) 『大』一―三五四号（八）。
- (15) 『大』一―三五四号（九）。
- (16) 『大』一―三四三号。
- (17) 『大』一―三六四号（一）など。
- (18) 『大』一―三五七号。この文書の日付は大日本古文書以来「十三  
日」とされ、前掲注（2）『大徳寺文書目録』においても同様で

あるが、本目録作成の過程で写真帳と対照したところ「廿三日」の誤りであることが明らかとなった。

(19) 『大』一一一五・一五二・一五三・一六〇・三八二号。

(20) 『大』一一三七九号。

(21) 『大』一一三八三〜三八六号。

## 二 須恵野村の相伝と醍醐寺文書

次に、須恵野村の伝領の経緯とその関係文書の所在について述べておこう。

藤原説子の娘（藤原公明室）が、須恵野村・井上村を子息の実忠ではなく娘の比丘尼生仏に譲り与えたことは先に述べた。生仏は、持仏堂建立の用途として銭百貫文を必要としており、その用途を用立たのが醍醐寺の実深であった。生仏の兄弟藤原実忠の子で、生仏には甥にあたる公惟が実深の弟子となっていたことから、その伝を求めたのであろう。公惟は、建長七年（一二五五）二月、時に醍醐寺座主であった師実深により醍醐寺供僧に推され、その後度々法会に参仕していることが確認される。<sup>2</sup>このように、公惟は実深の高弟であったため、須恵野村は実深一期の後は公惟に継承されるはずであったが、公惟が早世したため実深の弟子覚雅に継承されてしまった。そのため、弘安年間には三条実盛と覚雅との間で相論を生じ、正応年間には実忠の子息大炊御門公斉と覚雅の所職を継承した静運との間で相論が展開されている。<sup>4</sup>

その後須恵野村は経乗・憲豪・勝深と静運の門流に継承された。その後、貞治年間には徳禅寺の徹翁義亨と般若院の尊什・幸松丸との間

で相論が展開されており、最終的には醍醐寺三宝院流の継承するところとなった。その関係文書の目録は「2・醍醐寺文書」として掲げておいたので、参照されたい。なお、義亨と尊什・幸松丸との相論に関わる文書が野村美術館に所蔵されていることを付記しておく（名田荘関係史料補遺参照）。

(1) 『大日本古文書家わけ第十九』醍醐寺文書之一一二三三号。

(2) 『同』二二三二〇号（六）、十一三三〇五号、二二三二七号、二

一三二九号、『大日本古文書家わけ第十』東寺文書之一一二号

(三)（東寺百合文書ろ函）など。

(3) 以上の経緯は、『大』一一三四六号（三）（一〇）。

(4) 『大』一一三四六号（一〇）。

## 三 上村の相伝と土御門家文書・若杉家文書

名田荘関係の文書を伝える第三の文書群は、名田荘上村を伝領した陰陽道の土御門家及びその家司若杉家に伝えられた文書群である。その性格は、すべて南北朝以後の文書であること、とりわけ室町幕府よりの免除状の類が多く、室町期の文書をほとんど伝えていない徳禅寺文書とは対照的である。

土御門家文書は、現在多く宮内庁書陵部に所蔵されており、また東京大学史料編纂所にも一部が所蔵されている。<sup>1</sup>一方、若杉家文書は京都府立総合資料館に所蔵されているが、たとえば若杉家文書として写が伝来している応永十年（一四〇三）十二月二十三日の「室町幕府管領施行状」を受けて出された同月二十五日の「若狭守護一色範光遵行

状」が史料編纂所蔵の土御門家文書の中にみえるなど、土御門家文書と若杉家文書は本来一体のものであったと考えられる。

また、南北朝期以後の土御門家が守護被官等の押妨に対処しつつ所領支配を全うするため、南北朝・室町期を通じて幕府と交渉しつつ、戦国期には若狭武田氏の支援を得て年貢を確保するという、徳禅寺と同様の道をたどったことも興味深い。須恵野村は土御門家が相伝したため上部構造を形成する領主が異なるものの、在地の構造は徳禅寺領の名田荘と異なることは無かったと考えられる。また、地域的にも密接していたため、徳禅寺領の名田荘に干渉する者から同様に押妨を受ける場合が多かった。徳禅寺禊裏文書の（年未詳）四月二日「西園寺実俊施行状」に見える「当国守護家人新名平次郎繁氏」について、土御門家領の上村に対する濫妨を妨げるよう命ずる貞治三年十二月四日「室町幕府引付頭人（吉良満貞）奉書」が出されていることなどはそれを示すものであろう。

ともかく、土御門家及び若杉家に伝来した文書群は、「大徳寺文書」中の名田荘関係史料には少ない室町期の名田荘を探る貴重な素材であるとともに、「大徳寺文書」をはじめとする他の文書群と相互の関連性を探ることにより有効な史料となるであろう。

(1) 宮内庁書陵部所蔵の土御門家文書は、「即位関係文書」などの内容によるものと「綸旨」・「朱印状」などの形態による二つの基準により分類・整理されている。それらの内、名田荘関係文書を含む史料群は次のとおりである。

① 土一八九 即位関係文書

② 土一〇五 土御門家文書

③ 土一一一 綸旨

④ 土一一三 朱印状

また、史料編纂所蔵土御門家文書の請求番号は貴〇四一一。

(2) 史料編纂所・保立研究室では、科学研究費補助金Ⅱの研究史料として若杉家文書の一部について写真帳を購入した。本目録に(一)を付して示した写真帳の丁数はその番号である。

### おわりに

以上はいわば名田荘の領主に残された文書群であるが、これらとは別に在地に残された文書もわずかではあるが存在する。白水智氏が紹介された秦文書に残されている貞和四年の「天満宮造管入雑用銭注文」（目録4—(5)）や、在地に残された文書ではないが名田荘に居住する悪党の存在に言及している（年未詳）三月四日の「帆足成願書状案」（葛川文書、目録4—(4)）がそれである。

領主に残された文書群の検討により荘園の実態を描き出さざるを得ないのは史料の伝存状況から致し方ないが、さらに在地に残された文書をあわせ見ること、名田荘についてもさらに研究が進むこととなるであろう。

本目録がその一助となれば幸いである。

## 名田荘関係史料補遺

本目録作成の過程で、いくつかの未紹介文書を見出したので、それらを以下に紹介しておく。

(一) 東京大学史料編纂所所蔵影写本『徳禪寺文書』所収文書

影写本『徳禪寺文書』所収文書は、先に述べたとおり影写本の作成時点では徳禪寺に所在していたものの、その後本坊に移管されて現在にいたっている文書群である。しかし、影写本には現在本坊には見えない文書を六点取めており、うち五点が名田荘関係文書である。

【史料一】後宇多法皇院宣(裏紙、影写本第二冊一八八丁)

追言上、

此上及濫妨狼藉候者、可注進悪党交名之由、即可有御下知之旨、同被仰下」候也、重誠恐頓首謹言、

この文書は、『大』一一三一九号に正文の前半と封紙が、一一三六四号(一一二)に案文がそれぞれ伝来している延慶三年九月十八日「後宇多法皇院宣」の追而書である。後欠の正文と封紙は現在本坊に伝わっているが、この追而書の部分は見えないものである。

【史料二】後光厳天皇綸旨封紙(影写本第二冊一三二丁)

封紙のハ巻  
「謹上 花山院中納言入道殿 右大弁俊冬」

これは、影写本作成の時点では山城国栗野郷松崎神田内八段田に關する四月二十七日の綸旨に掛けられていたようであるが、恐らくは

『大』一一一三〇号として伝えられている文和二年(一一三三)十二月二十七日「後光厳天皇綸旨」の封紙と考えられ、名田荘関係文書の一つといえることができる。

【史料三】後光厳天皇綸旨(影写本第二冊一四四丁)

若狭国名田庄内田村・下村以下事、中納言入道寄附徳禪寺」由、被聞食了、不可有」相違之旨」天氣所候也、」仍執達如件、

延文五年後四月廿日右少弁行知

(義字)  
徹翁上人禅室

この文書は、『大』三六五号・三六六号・三七三号(二)・(三)

にみえる覚円(花山院兼信)より徳禪寺への寄進を受けて、徳禪寺に寄進された土地を安堵した後光厳の綸旨である。「原紙薄墨」という影写本の注記から、宿紙に記されていたことが分かる。

【史料四】後光厳天皇綸旨(影写本第一冊一三九丁)

御書  
「安居院中納言入道行知」

徳禪寺領若狭国」名田庄内田村・下村以下」事、義亨上人状書具」如此、子細見状候歟、可沙汰居雜掌下地之由、可」被仰遣武家之旨」天氣所候也、仍言上如件、」行知誠恐頓首謹言、

十一月六日 右中弁行知奉

進上 右大將殿

この文書は、これまで徳禪寺襖裏文書(七裏、『福井県史研究』一

○、徳禪寺文書―二五号。以下、『徳』―二五号のように略記)にみえる案文の断簡により部分的にその存在が知られていたもので、この影写本によりはじめて全文が知られるものである。奉者安居院行知の官途から、康安元年(一三六一)または翌貞治元年のものと考えられ、徳禪寺の徹翁義亨の訴えを受けて下地を雑掌に引き渡すことを命ずる様、幕府に伝えることを武家執奏西園寺実俊に命じたものである。これを受けて出された西園寺実俊書状の案文が『徳』―二六号にみえる。本文書も、原本は宿紙に記されていたことが影写本の注記より知られる。

【史料五】足利義詮御判御教書(影写本第二冊―四八丁)

〔宝篋院殿御判〕

若狭国名田庄内田村・下村」并別納等事、」就花山院」入道中納言家寄附、被成下」安堵 綸旨之上、所止政所濫妨」儀也、寺家管領不可有り相違之」状如件、

康安二年九月廿六日

参議

(花押)

徳禪寺長老

この文書は、名田庄内田村・下村等を徳禪寺の徹翁義亨に安堵した足利義詮の御判御教書である。おそらくは義亨の訴訟を受けて出された【史料四】及び『徳』―二六号と一連の訴訟に関わるものである。

(二) 野村美術館所蔵文書

【史料六】徹翁義亨書状

蓮華王院領若狭国名田庄内」須恵野村事、幸松丸申状調具」下賜候、当

村事、花山院故中納言」入道可致管領地候之間、当寺可申」聖断之間候者、不被安堵候歟、所存事候、○凡閣当院行事弁、」属他人被掠申安堵 勅裁候之」条、先以奸謀候歟、以此趣可令」披露給候、恐惶敬白、

十月十七日 釋義亨

この文書は、貞治二年または三年のものと推定される九月三十日付け「後光厳天皇綸旨」(「大」―一三七六号)を受けて提出された徹翁義亨の陳状にあたる文書である。須恵野村をめぐる、鎌倉期より相論が展開されてきたことについてはすでに述べたが、この頃、幸松丸より訴訟が提起され、担当の奉行広橋仲光は九月三十日、徳禪寺側に陳状の提出を求めたのである。それを受けて出されたものが、十月十七日付けのこの文書と考えられる。

(三) 東京大学史料編纂所所蔵土御門文書

【史料七】若狭守護一色範光遵行状

若狭国名田庄上村事、任」今月廿三日御教書之旨、止」南六郎宗緒押妨、可被全」土御門二位家所務之」状如件、

応永十年十二月廿五日

(花押)

小笠原三河入道殿

この文書は、史料編纂所に所蔵されている土御門文書の一通で、本来宮内庁書陵部に所蔵されている土御門家文書と一体のものであったと考えられる。名田庄上村に対する南宗緒の押妨停止を命ずる若狭守護一色範光の遵行状で、若杉家文書に写が伝えられている同年十二月二十三日「室町幕府管領施行状」を受けて出されたものである。

凡例

一、本目録は、「名田莊関係文書目録（稿）」として、名田莊に関する古文書を目録化したものであり、全体を次の四部に分った。

一、大徳寺文書

(一) 大徳寺文書

(二) 真珠庵文書

(三) 徳禅寺文書

二、醍醐寺文書

三、土御門家文書

(一) 土御門家文書

(二) 若杉家文書

四、その他

一、各々の文書について、「刊本文書番号」「和暦」「西暦」「文書名」「写真帳冊次」「差出」「宛所」「備考」「県史番号」を示した。

一、「刊本文書番号」は、大徳寺・真珠庵文書・醍醐寺文書については大日本古文書の文書番号を冊次・文書番号・小番号、他は空欄とした。

(例) 冊次Ⅱ大〇一、文書番号Ⅱ三三〇、小番号Ⅱ一

↓『大日本古文書 家わけ第十七』大徳寺文書之一、三三

〇号(一)に翻刻されている。

一、写真帳冊次については、東京大学史料編纂所所蔵の写真帳について、その冊次と丁数を示した。この内真珠庵文書の第二十七冊以後と徳禅寺文書については未だ仮綴の状態にあるので、利用される方は予めご了承願いたい。また、土御門家文書・若杉家文書については、科学研究費補助金・特定領域研究により購入した紙焼

きの丁数を仮に示している。

一、「県史番号」については、『福井県史 資料編2』中世の史料番号を示した。ただし徳禅寺文書については、『福井県史』資料編 中世史料 補遺(『福井県史研究』一〇、一九九一年)の文書番号である。

一、名田莊関係文書の一部は、名田庄村編『わかさ名田庄村志』(一九七一年)にも収録されており、所領・所職の別に関係文書をまとめられているのであわせて参照されたい。

差 出	宛 所	備 考	県史番号
右大辨（坊城俊冬）（花押）	謹上 花山院中納言入道（覚円、花山院兼信）殿	大01-364号-22に案文、	/
資明（柳原）	大納言法印御房		/
右中辨行知（安居院）	徹翁（義亨）和尚禅室		/
右中辨平行知〈奉〉	進上 民部大輔殿		/
右中辨平行知〈奉〉	進上 右大将（西園寺実俊）殿		/
陸奥守平（北条義時）（花押）			/
（花押）（三条実盛）	侍従		/
公禅（花押）			/
尊氏（花押）	花山院前中納言（兼信）殿	大01-364-21号に案文、	/
春宮権大夫実尹（今出川）	謹上 按察中納言（勧修寺経頭）殿		/
覺圓（花山院兼信）（花押）	{徹翁和尚塔頭}		/
法眼任憲	謹上 執當僧都御房		/
覺圓（花山院兼信）（花押）	{徹翁和尚塔頭}		/
忠光（柳原）	大徳寺長老（徹翁義亨）上人御房		/
散位行清（花押）	{徳禅寺塔頭正傳庵}		/
大蔵少輔藤原行清（花押）	{徳禅寺塔頭正傳庵}		/
大蔵少輔藤原行清（花押）	{徳禅寺塔頭正傳庵}		/
沙弥（白井行胤）（花押）／ 右衛門尉（斎藤）（花押）			/
正二位（足利義詮）（花押）	當寺長老（徹翁義亨）		/
武蔵守（細川頼之）（花押）	一色修理権大夫（範光）入道殿		/
左衛門佐（斯波義将）（花押）	一色左京大夫（詮範）殿		/
範光（一色）（花押）	小笠原源蔵人大夫殿		/
従四位上行清（花押）	徳禅寺方丈（徹翁義亨）侍者御中		/
右大将実俊（西園寺）	謹上 鎌倉宰相中将（足利義詮）殿	徳07裏-611に案文、	/
忠光（柳原）、○奥上にあり、	祥山（仁禎）和尚禅室		/

## ◆名田莊関係文書目録（稿）

## 1-(1) 大徳寺文書

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
大01	130		文和二年十二月廿七日	13530120270	後光厳天皇綸旨	別	2	64
大01	133		「貞和三」十月七日	13470100070	光厳院院宣	別	2	68
大01	134		(貞治元・二年) 三月九日	55550030090	後光厳天皇綸旨	別	2	70
大01	135		(貞治三一五年) 四月一日	55550040010	後光厳天皇綸旨	別	2	71
大01	136		(康安元・貞治元年) 十一月十九日	55550110190	後光厳天皇綸旨	別	2	73
大01	137		承久三年閏十月十二日	12210105120	関東下知状	別	2	75
大01	138		乾元二年五月廿五日	13030050250	三条実盛置文	別	2	76
大01	141		嘉暦貳年十月十日	13270100100	公禅契約状	別	2	80
大01	144		〔建武三年〕九月廿一日	13360090210	足利尊氏書状	別	2	84
大01	145		〔暦應二年〕十月八日	13390100080	今出川実尹書状	別	2	85
大01	146		暦應三年十一月十三日	13400110130	花山院覚円(兼信)寄進状	別	2	86
大01	147		〔貞和三年〕十月十五日	13470100150	延暦寺座主(尊胤法親王)令旨	別	2	87
大01	148		貞和四年八月十八日	13480080180	花山院覚円(兼信)寄進状	別	2	88
大01	150		「康安二」七月廿九日	13620070290	柳原忠光奉書	別	2	90
大01	151		貞治二年十一月十三日	13630110130	藤原行清寄進状	別	2	91
大01	152		貞治參年〈甲／辰〉十月廿三日	13640100230	藤原行清却状	別	2	93
大01	153		貞治參年〈甲／辰〉十月廿三日	13640100230	藤原行清寄進状	別	2	94
大01	154		貞治五年九月十七日	13660090170	室町幕府奉行人連署打渡状	別	2	95
大01	155		貞治六年七月五日	13670070050	足利義詮御判御教書	別	2	96
大01	156		應安六年閏十月十七日	13730105170	室町將軍(足利義滿)家御教書	別	2	97
大01	158		康應元年九月十日	13890090100	室町將軍(足利義滿)家御教書	別	2	99
大01	159		(貞治六年) 七月十四日 〈西／剋〉	13670070140	若狭守護一色範光書状	別	2	100
大01	160		(貞治四年) 後九月廿七日	13650095270	藤原行清書状	別	2	102
大01	161		(年未詳) 十一月七日	55550110070	西園寺実俊書状	別	2	103
大01	193		(貞治六年) 十月七日	13670100070	後光厳天皇綸旨	甲	3	44

差 出	宛 所	備 考	県史番号
釋観空（安居院実忠）（花押、欠損あり）		大01-364号-5に案文、	/
藤原（三条実盛）朝臣（花押）	{孫め、かこ姫君}		/
藤原（三条実盛）朝臣（花押）、○次行にあり、	権大納言典侍とのへ	大01-364号-9に案文、	/
〔重経〕	〔からすまるとのへ〕		/
〔定房（吉田）〕	〔左中辨（藤原雅任）殿〕	大01-364号-12に案文、	/
頼藤〈奉〉	進上 前左馬権頭殿		/
はる顕（葉室光顕）	大貳との、御つほねへ		/
左少辨資房（清閑寺）	謹上 中納言僧都御房		/
左少辨資房（清閑寺）	謹上 中納言僧都御房		/
法印経乗（醍醐中性院）	謹上 前左大辨宰相（三条公明）殿		/
			/
左中辨実治（三条）	謹上 大炊御門三位入道殿		/
さねはる（三条実治）	覺忍（三条公野母）御房へ		/
左中辨実治（三条）	謹上 中納言法印御房		/
（花押）（尼覺忍）	いまこうちとのへ		/
			/
〔藤清法師（賢舜）〕			/
兼信（花山院）			/
（花押）（権大納言典侍局）	〔中納言殿（花山院兼信）〕		/
左中辨（万里小路季房）（花押）	謹上 花山院前中納言（兼信）殿	大02-719号-5・真06-848号に案文、	/
法印実鑿	謹上 権左少辨（中御門為治）殿		/
権左小辨為治（中御門）	謹上 大炊御門少将殿		/
左少辨藤長（甘露寺）	進上 花山院前中納言（兼信）殿		/
中納言資明（柳原）	因幡守殿		/
國俊（吉田）	花山院前中納言（兼信）殿		/
権大納言隆蔭（四条）	大炊御門少将殿		/
権左中辨行兼〈奉〉	謹々上 花山院前中納言入道（覚円、花山院兼信）殿		/
僧行寛（花押）			/
判	いよのせんし殿へ		/
清原友盛（花押）			/
仲房（万里小路）			/

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
大01	315		正嘉二年八月日	12580080550	安居院観空（実忠）讓状	甲	5	73
大01	316		正安四年十一月十一日	13020110110	三条実盛讓状	甲	5	75
大01	317		嘉元々年十一月十四日	13030110140	三条実盛讓状	甲	5	77
大01	318		〔嘉元三年五月九日〕	13050050090	亀山法皇院宣	甲	5	80
大01	319		〔延慶三年九月十八日〕	13100090180	後宇多法皇院宣（後欠）	甲	5	83
大01	320		（延慶三年）八月七日	13100080070	伏見上皇院宣	甲	5	84
大01	321		（年未詳）七月十七日	55550070170	葉室光顯奉書	甲	5	87
大01	322		〔元亨三〕十月十三日	13230100130	後醍醐天皇繪旨案	甲	5	88
大01	323		〔元亨三〕十一月八日	13230110080	後醍醐天皇繪旨案	甲	5	89
大01	324		（正中年間）六月九日	55550060090	僧經乘書状	甲	5	90
大01	325		正中二年〈乙／丑〉十月 日	13250100550	若狭名田庄内田村河成檢注帳案	甲	5	92
大01	326		〔嘉曆二〕四月十三日	13270040130	後醍醐天皇繪旨	甲	6	1
大01	327		（嘉曆二年）五月三日	13270050030	後醍醐天皇繪旨案	甲	6	3
大01	328		〔嘉曆二〕六月十三日	13270060130	後醍醐天皇繪旨案	甲	6	4
大01	329		（年月日未詳）	55550550550	尼覺忍（三条公野母）讓状	甲	6	7
大01	330	0			僧賢舜請文案并花山院兼信書状案	甲	6	8
大01	330	1	（嘉曆二年）	13270550550	僧賢舜請文案	甲	6	9
大01	330	2	〔嘉曆二年〕八月廿二日	13270080220	花山院兼信書状案	甲	6	10
大01	331		かりやく（嘉曆）三年二月八日	13280020080	權大納言典侍局讓状	甲	6	11
大01	332		嘉曆四年四月十一日	13290040110	後醍醐天皇繪旨	甲	6	12
大01	333		（元弘二年）正月廿四日	13320010240	僧実鑒拳状	甲	6	14
大01	334		〔元弘二〕二月廿二日	13320020220	光嚴院院宣	甲	6	16
大01	335		（建武二年）十一月五日	13350110050	後醍醐天皇繪旨案	甲	6	17
大01	338		〔康永二〕九月十五日	13430090150	光嚴院院宣	甲	6	30
大01	339		（年未詳）七月十八日	55550070180	光嚴院院宣案	甲	6	31
大01	340		（年未詳）九月十六日	55550090160	光嚴院院宣案	甲	6	33
大01	341		（貞和二年頃）五月廿四日	55550050240	光嚴院院宣	甲	6	34
大01	342		貞和二年十一月十九日	13460110190	僧行寛契状	甲	6	35
大01	343		（元亨元年）七月五日	13210070050	別当典侍局置文案	甲	6	38
大01	344		貞和二年十一月廿日	13460100200	清原友盛起請文	甲	6	40
大01	345		〔貞和四〕八月十七日	13480080170	万里小路仲房書状	甲	6	41

差 出	宛 所	備 考	県史番号
			/
			/
			/
比丘尼生佛在判		大02-718号-4・719号-4に別案文、	/
〈覺雅〉法印在判	〈経乗〉大蔵卿阿闍梨御坊		/
〈経乗〉法印在判／〈憲豪〉権少僧都在判	{熊若丸(成重)}		/
〈勝深〉／権少僧都在判			/
〈安居院中将(実忠)入道〉観空〈在裏判〉／〈同子息大炊御門二位〉公直〈在裏判〉	謹上 大納言法印御房		/
小判事中原章顕／左衛門少尉中原明綱／左衛門大尉中原朝臣章継／左衛門少尉中原朝臣職隆／明法博士中原朝臣章名／右衛門少尉中原章保／散位中原朝臣明盛／助教中原朝臣師種／左大史少槻宿祢顕衡／掃部頭中原朝臣師宗／大外記中原朝臣師顕			/
〈資一〉民部卿(日野資宣)御判	〈静運〉／内大臣僧都御房		/
左衛門少尉中原朝臣章文／左衛門少尉中原朝臣職隆／直講清原真人良枝／散位中原朝臣明盛／西市正中原朝臣師淳／助教中原朝臣師種／大判事中原朝臣章隆／大外記中原朝臣師宗／大外記中原朝臣師顕／前豊前守清原真人良季			/
〈隆長(甘露寺)〉左少辨〈御判〉	謹上 大蔵卿僧都御房〈経乗〉		/
〈秀房〉左少辨(万里小路)〈御判〉	謹上 中納言僧都御房〈憲豪〉		/
〈光顕〉右中辨(葉室)〈御判〉	左衛門督律師御房〈勝深〉		/
民部卿藤原(吉田定房)朝臣／右京大夫藤原(三条実任)朝臣〈在御判〉／正三位藤原(柳原資明)朝臣〈在御判〉／左少辨藤原(甘露寺藤長)朝臣／大外記中原朝臣〈判〉／左衛門大尉中原	若狭國衛		/

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
大01	346	0			若狭名田庄須惠野村陳状案并具書案	甲	6	43
大01	346	1	貞和五年閏六月 日	13490065550	名田庄須惠野村陳状案	甲	6	43
大01	346	2	(年月日未詳)	55550550550	名田庄須惠野村相伝系図	甲	6	44
大01	346	3	寶治二年四月 日	12480040550	尼生仏讓状案	甲	6	45
大01	346	4	正應五年八月廿四日	12920080240	僧覺雅附属状案	甲	6	46
大01	346	5	正和三年正月十九日	13140010190	僧經乘讓状案	甲	6	48
大01	346	6	元徳參年六月廿三日	13310060230	僧勝深安堵状案	甲	6	48
大01	346	7	寶治二年四月廿四日	12480040240	安居院觀空(実忠)・同公直連署去状案	甲	6	49
大01	346	8	弘安九年十一月八日	12860110080	文殿注進状案	甲	6	49
大01	346	9	正應三年十月廿九日	12900100290	後深草上皇院宣案	甲	6	50
大01	346	10	正應三年七月廿一日	12900070210	文殿注進状案	甲	6	50
大01	346	11	嘉元三年十二月六日	13050120060	後宇多上皇院宣案	甲	6	52
大01	346	12	嘉暦元年五月三日	13260050030	後醍醐天皇綸旨案	甲	6	52
大01	346	13	嘉暦四年七月十三日	13290070130	後醍醐天皇綸旨案	甲	6	52
大01	346	14	建武二年九月五日	13350090050	雜訴決断所牒案	甲	6	53

差 出	宛 所	備 考	県史番号
(大宮章方) 朝臣〈判〉／大蔵丞三善(飯尾貞兼)〈判〉			
左衛門尉雅清〈在判〉	隼人佑(成重) 殿		/
権中納言(四条隆蔭)〈御判〉	謹上 大蔵御殿		/
在判		大01-364号-4 に別案文、	/
観空(安居院実忠)〈在判〉	{実盛(三条) 朝臣}		/
内大臣藤原(吉田定房) 朝臣／右京大夫藤原(三条実任) 朝臣〈御判〉／正三位藤原(柳原資明) 朝臣〈在御判〉／右少辨藤原(甘露寺藤長) 朝臣〈在判〉／左衛門大尉中原(大宮章方) 朝臣〈在判〉／散位宇佐宿禰〈在判〉／采女正中原(重尚)〈在判〉	若狭國衙		/
			/
[藤原朝臣実盛(三条)]	[公野(三条)]	大02-718号-1・719号-1 に別案文、	/
按察使資明(柳原)	謹上 花山院中納言入道(覚円、花山院兼信) 殿		/
権大納言隆蔭(四条)	阿賀宇(藤原清季) 殿		/
沙弥良圓(花押)			/
左中辨親明(平)〈上〉	謹上 花山院中納言入道(覚円、花山院兼信) 殿		/
権大納言隆蔭(四条)	謹上 花山院中納言入道(覚円、花山院兼信) 殿		/
			/
藤原清季〈裏判〉／藤原盛忠〈同判〉			/
散位判奉	謹上 阿賀宇殿／石田六郎 殿		/
			/
藤原氏女雑掌			/
			/
左少辨(清閑寺清房) 判〈奉〉	謹上 大炊御門三位入道殿		/
在判〈奉〉	別當典侍との、御つほねへ		/
太宰権帥(坊城俊実)〈判〉	大炊御門少将殿		/
判	謹上 大炊御門前少将殿		/
中納言(柳原資明)〈判〉	因幡守殿		/

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
大01	346	15	建武二年十二月廿五日	13350120250	布志名雅清避状案	甲	6	53
大01	346	16	建武四年十一月廿四日	13370110240	光厳院院宣案	甲	6	53
大01	346	17	けんほう（建保）三年十二月十六日	12150120160	大姫御前議状案	甲	6	54
大01	346	18	建治三年八月 日	12510080550	安居院観空（実忠）議状案	甲	6	54
大01	346	19	建武二年正月廿五日	13350010250	雑訴決断所牒案	甲	6	55
大01	347	0			若狭名田庄須惠野村相傳文書案	甲	6	56
大01	347	1	（年月日未詳）	55550550550	須惠野村相伝系図	甲	6	56
大01	347	2	（正安三年七月廿九日）	13010070290	三条実盛議状案（後欠）	甲	6	56
大01	348		（年未詳）十二月廿三日	55550120230	光厳院院宣	甲	6	58
大01	349		「貞和五」三月八日	13490030080	光厳院院宣案	甲	6	61
大01	350		貞和五年八月廿七日	13490080270	沙弥良圓請文	甲	6	62
大01	351		（貞和五・六年）六月二日	55550060020	光厳院院宣	甲	6	64
大01	352		〔観應元年〕五月五日	13500050050	光厳院院宣案	甲	6	66
大01	353	0			若狭名田庄坂本村文書案	甲	6	67
大01	353	1	観應元年六月 日	13500060550	藤原清季・同盛忠連署起請文案	甲	6	67
大01	353	2	観應元年六月十八日	13500060180	花山院家（兼信）御教書案	甲	6	69
大01	354	0			藤原氏女陳状并具書案	甲	6	70
大01	354	1	観應元年九月 日	13500090550	藤原氏女陳状	甲	6	70
大01	354	2	（年月日未詳）	55550550550	名田庄内知見村相承系図	甲	6	72
大01	354	3	元亨三年八月六日	13230080060	後醍醐天皇綸旨案	甲	6	73
大01	354	4	元亨元年五月十三日	13210030030	後宇多法皇院宣案	甲	6	73
大01	354	5	元弘二年三月三日	13320030030	光厳院院宣案	甲	6	73
大01	354	6	建武三年九月十一日	13360090110	光厳院院宣案	甲	6	73
大01	354	7	康永二年七月二日	13430070020	光厳院院宣案	甲	6	74

差 出	宛 所	備 考	県史番号
観空（安居院実忠）〈在判〉	{へたうのすけとの（別當典侍局)}	真05-637号-2に別案文、	/
判	とうたうみのし、う殿へ		/
せむせう（少将）	にしむきの御方へ		/
實盛〈在判〉	別當のすけとのへ	真05-637号-3に別案文、	/
長光（葉室）	謹上 花山院中納言入道（覚円、花山院兼信）殿		/
右大辨（吉田守房）（花押）〈奉〉	謹上 花山院中納言入道（覚円、花山院兼信）殿		/
覺圓（花山院兼信）（花押）	{徳禅寺鎮主〔守〕春日大明神} / 正傳庵		/
勘解由次官（花押）〈奉〉	謹上 花山院中納言入道（覚円、花山院兼信）殿		/
左少辨親顕（平）	謹上 大炊御門少将入道殿		/
左兵衛督（日野教光）（花押）奉	静舜上人御房		/
			/
領主沙弥（盛信）〈在判〉			/
あまはん	{ひめこせん（大姫御前)}		/
ありはん	{少将さねた、（安居院実忠)}	大01-346号-17に別案文、	/
尺観空（安居院実忠）〈在判〉	{外孫右少将実盛（三条)}	大01-315号に正文、	/
尺観空（安居院実忠）〈判〉			/
前越前守経宣（中御門）〈奉〉	謹々上 花山院中納言（兼信）殿		/
〈重経〉治部卿〈判〉	権大納言典侍殿御局		/
〈実盛卿〉藤原朝臣〈判〉	権大納言典侍とのへ	大01-317号に正文、	/
〈有房卿〉判（六条）	右中辨（藤原雅任）殿		/
〈雅任〉左中辨〈判奉〉	謹々上 花山院新宰相中将（兼信）殿		/
定房（吉田）	左中辨（雅任）殿	大01-319号に正文（後欠）、	/
くにふさ（吉田國房）	権大納言典侍御局		/
[国房朝臣（吉田）]			/
〈重経卿〉判〈奉〉	権大納言典侍殿御局		/
			/
俊光（日野）	大納言すけとの、御つほねへ		/
〈有忠卿〉判（六条）	権大納言すけとの、御局へ		/

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
大01	354	8	文永四年十二月廿六日	12670120260	安居院観空（実忠）讓状案	甲	6	74
大01	354	9	正をう（應）五年正月廿日	12920010200	別当典侍局讓状案	甲	6	74
大01	354	10	元亨四年二月二日	13240020020	大炊御門三位入道せむせう（実綱）讓状案	甲	6	75
大01	354	11	正應二年十月十三日	12890100130	三条実盛去状案	甲	6	75
大01	355		〔観応元年〕十一月九日	13500110090	光嚴院院宣	甲	6	78
大01	356		正平七年正月廿九日	13520010290	後村上天皇繪旨	甲	6	79
大01	357		文和二年正月廿三日	13530010130	花山院覚円（兼信）寄進状	甲	6	80
大01	359		正平八年七月十日	13530070100	後村上天皇繪旨	甲	6	83
大01	360		（文和三・四年）九月卅日	55550090300	後光嚴天皇繪旨	甲	6	84
大01	362		文和四年十二月廿五日	13550120250	後光嚴天皇繪旨	甲	6	87
大01	364	0			若狭名田庄調度文書案	甲	7	1
大01	364	1	（年月日未詳）	55550550550	名田庄相伝系図	甲	7	1
大01	364	2	仁安三年十一月廿九日	11680110290	名田郷開発領主盛信相博状案	甲	7	2
大01	364	3	安元々年二月六日	11750020060	伊予内侍讓状案	甲	7	3
大01	364	4	けんほう（建保）三年十二月十六日	12150120160	大姫御前讓状案	甲	7	3
大01	364	5	正嘉二年八月 日	12580080550	安居院観空（実忠）讓状案	甲	7	3
大01	364	6	建治三年八月 日	12770080550	安居院観空（実忠）重讓状案	甲	7	4
大01	364	7	〔正和四〕十月十一日	13150100110	後宇多法皇院宣案	甲	7	4
大01	364	8	嘉元二年九月三日	13040090030	龜山法皇院宣案	甲	7	5
大01	364	9	嘉元々年十一月十四日	13030110140	三条実盛讓状案	甲	7	6
大01	364	10	延慶三年七月廿五日	13100070250	後宇多法皇院宣案	甲	7	6
大01	364	11	延慶三年九月六日	13100090060	万秋門院令旨案	甲	7	6
大01	364	12	〔延慶三〕九月十八日	13100090180	後宇多法皇院宣案	甲	7	7
大01	364	13	延慶元年十二月十二日	13080120120	伏見上皇院宣案	甲	7	7
大01	364	14	（年月日未詳）	55550550550	伏見上皇院宣案	甲	7	7
大01	364	15	嘉元三年四月十日	13050040100	龜山法皇院宣案	甲	7	8
大01	364	16	〔嘉元三年閏五月九日〕	13050050590	龜山法皇院宣案	甲	7	8
大01	364	17	（年未詳）十月十三日	55550100130	伏見上皇院宣案	甲	7	8
大01	364	18	文保二年四月十日	13180040100	後宇多法皇院宣案	甲	7	9

差 出	宛 所	備 考	県史番号
左少辨判〈奉〉	進上 花山院前中納言（兼信）殿		/
隆蔭（四条）	謹上 花山院前中納言（兼信）殿		/
尊氏〈判〉	花山院前中納言（兼信）殿	大01-144号に正文、	/
〈俊冬朝臣〉右大辨（坊城） 〈判〉	謹上 花山院中納言入道（兼信）殿	大-1-130号に正文、	/
覺圓（花山院兼信）（花押）	{徳禪寺}		/
覺圓（花山院兼信）（花押）	{徹翁和尚塔頭}		/
（花押）（覺円、花山院兼信）			/
右中辨行知（安居院）	徹翁（義亨）和尚禪室		/
右中辨行知（安居院）	徹翁（義亨）上人禪室		/
左少辨（万里小路嗣房）（花押）	静舜御房		/
沙門静舜			/
			/
			/
彈正親王廳			/
覺圓（花山院兼信）〈判〉		徳06裏-483号-1に別案文、	/
覺圓		徳06裏-483号-2に別案文、	/
義亨	千本殿	徳06裏-483号-3に別案文、	/
右少辨（広橋仲光）（草名）	謹上 左中辨（安居院行知）殿		/
右少辨（広橋仲光）（草名）	義亨（徹翁）上人御房		/
宮内卿信兼〈奉〉	進上 右大将（西園寺実俊）殿		/
宮内卿信兼	進上 民部大輔殿		/
了浄（花押）	{徳禪寺}		/
左京大夫（安居院行知）（草名）	徹翁（義亨）上人御房		/
左京大夫（安居院行知）（草名）	大蔵少輔（藤原行清）殿		/
大蔵少輔行清（藤原）（花押）	{正傳庵}		/
左京大夫（安居院行知）（草名）	徹翁（義亨）上人禪室		/

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
大01	364	19	元弘三年六月廿四日	13330060240	後醍醐天皇繪旨案	甲	7	9
大01	364	20	〈建武三〉九月九日	13360090090	光嚴院院宣案	甲	7	9
大01	364	21	〈建武三〉九月廿一日	13360090210	足利尊氏書狀案	甲	7	9
大01	364	22	文和二年十二月廿七日	13530120270	後光嚴天皇繪旨案	甲	7	10
大01	365		延文四年十二月廿三日	13590120230	花山院覚円(兼信)寄進狀	甲	7	12
大01	366		延文五年〈庚子〉四月十三日	13600040130	花山院覚円(兼信)寄進狀	甲	7	13
大01	367		延文五年閏四月 日	13600045550	若狭名田庄田村下村兩村文書目録	甲	7	15
大01	368		(康安元・貞治元年)十月二日	55550100020	後光嚴天皇繪旨	甲	7	19
大01	369		「康永二」八月十日	13430080100	後光嚴天皇繪旨	甲	7	20
大01	370		貞治元年十月四日	13620100040	後光嚴天皇繪旨	甲	7	21
大01	371		(年未詳)十一月廿五日	55550110250	僧静舜挙狀	甲	7	23
大01	372		(年月日未詳)	55550550550	後光嚴天皇繪旨(後欠)	甲	7	24
大01	373	0			彈正親王(邦省)序申狀并具書案	甲	7	25
大01	373	1	貞治二年五月 日	13630050550	彈正親王(邦省)序申狀	甲	7	25
大01	373	2	延文五年〈庚/子〉四月廿五日	13600040250	花山院覚円(兼信)讓狀案	甲	7	26
大01	373	3	(延文五年)壬四月十三日	13600045130	花山院覚円(兼信)讓狀案	甲	7	27
大01	373	4	(延文五年)後四月十三日	13600045130	義亨(徹翁)返狀案	甲	7	27
大01	374		(貞治二・三年)七月廿九日	55550070290	彈正親王(邦省)序令旨	甲	7	30
大01	376		(貞治二・三年)九月卅日	55550090300	後光嚴天皇繪旨	甲	7	36
大01	377		(貞治二一四年)五月廿七日	55550050270	後光嚴天皇繪旨	甲	7	37
大01	378		(貞治三年)十二月六日	13640120060	後光嚴天皇繪旨	甲	7	39
大01	379		貞治三年十二月廿三日	13640120230	了淨寄進狀	甲	7	42
大01	380		(貞治四・五年)九月五日	55550090050	後光嚴天皇繪旨	甲	7	43
大01	381		貞治四年九月廿六日	13650090260	後光嚴天皇繪旨	甲	7	44
大01	382		貞治四年〈乙/巳〉十一月十八日	13650110180	藤原行清寄進狀	甲	7	45
大01	383		貞治四年十二月廿九日	13650120290	後光嚴天皇繪旨	甲	7	46

差 出	宛 所	備 考	県史番号
左京大夫（安居院行知）（草名）	徹翁（義亨）上人禪室		/
左京大夫（安居院行知）（草名）	徹翁（義亨）上人禪室		/
左京大夫（安居院行知）（草名）	徹翁（義亨）上人禪室		/
範光〈判〉	小笠原源藏人大夫殿		/
増賢〈状〉	左中弁（藤原長宗）殿		/
右中将公時（三条西）	義亨上人御房		/
左少弁（広橋仲光）（草名）	祥山（仁禎）上人禪室		/
左中辨（中御門宣方）（花押）	徳禪寺長老		/
下野前司（布施貞基）〈判〉 ／〈飯尾濃州〉／沙弥（飯尾貞元）	武田大膳大夫（信賢）殿		/
弾正忠（布施英基）〈判〉 ／大和守（飯尾元連）〈判〉	武田大膳大夫（國信）入道殿		/
元泰（粟屋）（花押）	徳禪寺／尊答／侍者御中		/
元泰（粟屋）（花押）	徳禪寺／尊報		/
元泰（粟屋）（花押）	徳禪寺／貴報		/
宗怡（花押）	徳禪寺／尊答		/
勝吉（中村）（花押）	徳禪寺／御返報		/
志加广〔摩〕吉久（花押）	宗運／まいる侍者御中		/
家吉（志賀摩）（花押）	徳禪寺／御納所御報		/
元隆（粟屋）（花押）	徳禪寺／尊報		/
元隆（粟屋）（花押）	徳禪寺／參御同宿中		/
元隆（粟屋）（花押）	徳禪寺／御返報		/
宗運（花押）	徳禪寺／侍衣閣下		/
宗運（花押）	拝答 徳禪寺／侍衣閣下		/
宗運（花押）	徳禪寺／侍衣禪師		/
勝吉（中村）（花押）	徳禪寺參／尊報		/
家吉（志賀摩）（花押）	〈徳禪寺〉御納所／侍者御中		/
勝忠（中村）（花押）	〈徳禪寺〉御納所／侍者御中		/
勝忠（中村）（花押）	徳禪寺御納所まいる／御返報		/
宗重（中村）（花押）	〈徳禪寺〉御納所中		/
信豊（武田）（花押）	徳禪寺／御返報		/
			/
若州より／志賀广〔摩〕七郎左衛門尉	〈徳禪寺〉御納所〈まいる〉		/

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
大01	384		貞治四年十二月廿九日	13650120290	後光嚴天皇繪旨	甲	7	47
大01	385		貞治四年十二月廿九日	13650120290	後光嚴天皇繪旨	甲	7	48
大01	386		貞治四年十二月廿九日	13650120290	後光嚴天皇繪旨	甲	7	49
大01	390		〔貞治六年〕七月十三日	13670070130	若狹守護一色範光書狀案	甲	7	56
大01	393		(應安元年)後六月廿七日	13680065270	僧增賢拳狀	甲	7	60
大01	394		(年未詳)九月廿五日	55550090250	後光嚴天皇繪旨	甲	7	61
大01	395		(年未詳)九月十八日	55550090180	広橋仲光奉繪旨	甲	7	62
大01	397		(應安六・七年)十一月九日	55550110090	後圓融天皇繪旨	甲	7	64
大01	401		長祿三年十一月七日	14590110070	室町幕府奉行人連署奉書案	甲	7	68
大01	402		文明八年四月十九日	14760040190	室町幕府奉行人連署奉書案	甲	7	70
大01	414		(年未詳)十一月十六日	55550110160	粟屋元泰書狀	甲	8	14
大01	415		〔永正十八年〕九月朔日	15210090010	粟屋元泰書狀	甲	8	17
大01	416		〔永正十八年〕九月朔日	15210090010	粟屋元泰書狀	甲	8	19
大01	417		(年未詳)五月十日	55550050100	笑鷗軒宗怡書狀	甲	8	21
大01	420		〔大永二年〕九月廿七日	15220090270	中村勝吉書狀	甲	8	29
大01	421		〔大永二年〕十二月廿二日	15220120220	志賀摩吉久書狀	甲	8	31
大01	422		(年未詳)九月十七日	55550090170	志賀摩家吉書狀	甲	8	33
大01	423		〔大永三年〕十月十五日	15230100150	粟屋元隆書狀	甲	8	35
大01	424		(年未詳)六月朔日	55550060010	粟屋元隆書狀	甲	8	37
大01	425		(年未詳)九月十九日	55550090190	粟屋元隆書狀	甲	8	39
大01	426		〔大永三年〕十月十六日	15230100160	笑鷗軒宗運書狀	甲	8	41
大01	427		(年未詳)九月十六日	55550090160	笑鷗軒宗運書狀	甲	8	43
大01	428		〔大永四年〕十月十八日	15240100180	笑鷗軒宗運書狀	甲	8	45
大01	429		〔大永四年〕拾月十八日	15240100180	中村勝吉書狀	甲	8	47
大01	437		〔天文三年〕九月十七日	15340090170	志賀摩家吉書狀	甲	8	63
大01	438		〔天文三年〕九月十七日	15340090170	中村勝忠書狀	甲	8	65
大01	439		(年未詳)九月十九日	55550090190	中村勝忠書狀	甲	8	67
大01	440		(年未詳)五月十日	55550050100	中村宗重書狀	甲	8	69
大01	449		(天文八年)十二月廿五日	15390120250	武田信豊書狀	甲	8	87
大01	450		(年月日未詳)	55550550550	大徳寺領文書目錄	甲	8	89
大01	452		(年未詳)九月十七日	55550090170	志賀摩家吉書狀封紙	甲	8	93

差 出	宛 所	備 考	県史番号
在判			/
			/
藤原朝臣實盛〈判〉	{公野}	大01-347号-2 (後 欠)・大02-719号-1 に別案文、	/
沙弥成観〈判〉／比丘尼覺忍〈判〉		大02-719号-2 に別案文、	/
判		大02-719号-3 に別案文、	/
比丘尼生佛		大01-364号-3 ・大02-719号-4 に別案文、	/
公明 (柳原)			/
公明 (柳原)			/
公明 (柳原)			/
			/
藤原朝臣實盛〈判〉	{公野}	大01-347号-2 (後 欠)・大02-718号-1 に別案文、	/
沙弥成観判／比丘尼覺忍判		大02-718号-2 に別案文、	/
御判		大02-718号-3 に別案文、	/
比丘尼生佛		大01-364号-3、大02-718号-4 に別案文、	/
〈季房〉左中弁 (万里小路)〈判〉	謹上 花山院前中納言 (兼信) 殿	大01-332号に正文、真06-848号に別案文、	/
			/
			/
元泰 (粟屋) (花押)	〈徳禪寺尊答〉侍衣禪師		/
元泰 (粟屋) (花押)	徳禪寺／尊報		/
元隆 (粟屋) (花押)	徳禪寺／御報		/
元隆 (粟屋) (花押)	徳禪寺／御返報		/
元隆 (粟屋) (花押)	徳禪寺／尊報		/
勝忠 (中村) (花押)	徳禪寺〈貴報〉侍者御中		/
		足利義詮書状封紙を翻して文書包紙として使用し「徳禪寺領若狭国名田四个村守護不入之御教書正文」と墨書す、写真帳は書状封紙の字面のみ、	/

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
大02	717		弘安十年六月 日	12870060550	若狭名田庄田村寺地田畠 注文案	丙	14	55
大02	718	0			若狭名田下庄内須恵野村 重書案	丙	14	56
大02	718	1	正安三年七月廿九日	13010070290	三条実盛讓状案	丙	14	56
大02	718	2	文保三年四月廿五日	13190040250	沙弥成観等連署証文案	丙	14	56
大02	718	3	くゑんかう（元亨）二 年二月二日	13220020020	大納言三位局讓状抄書	丙	14	57
大02	718	4	寶治二年四月 日	12480040550	尼生仏讓状案	丙	14	57
大02	718	5	「正中三」三月十一日	13260030110	柳原公明奉書抄書	丙	14	58
大02	718	6	（正中三年三月）同十四 日	13260030140	柳原公明奉書抄書	丙	14	58
大02	718	7	（正中三年三月）同十七 日	13260030170	柳原公明奉書抄書	丙	14	59
大02	719	0			若狭名田下庄内須恵野村 重書案	丙	14	60
大02	719	1	正安三年七月廿九日	13010070290	三条実盛讓状案	丙	14	60
大02	719	2	文保三年四月廿五日	13190040250	沙弥成観等連署証文案	丙	14	60
大02	719	3	くゑんかう（元亨）二 年二月二日	13220020020	大納言三位局讓状抄書	丙	14	60
大02	719	4	寶治二年四月 日	12480040550	尼生仏讓状案	丙	14	61
大02	719	5	嘉曆四年四月十一日	13290040110	後醍醐天皇綸旨案	丙	14	61
大02	720		（年月日未詳）	55550550550	若狭名田庄相伝系図	丙	14	62
大02	721		（年月日未詳）	55550550550	若狭名田下庄内須恵野村 相伝系図	丙	14	63
大02	725		（永正十三年）八月廿八 日	15160080280	粟屋元泰書状	丙	14	70
大02	726		〔永正十七年〕十月廿二 日	15200100220	粟屋元泰書状	丙	14	72
大02	727		（年未詳）十月十六日	55550100160	粟屋元隆書状	丙	14	74
大02	728		〔大永四年〕十月十八日	15240100180	粟屋元隆書状	丙	14	76
大02	729		（享祿元年）閏九月十一 日	15280095110	粟屋元隆書状	丙	14	78
大02	730		（年未詳）九月十八日	55550090180	中村勝忠書状	丙	14	80
大13	3302		（年月日未詳）	55550550550	足利義詮書状封紙	箱外	74	53

差 出	宛 所	備 考	県史番号
若狭国名田庄知見村雑掌			真030
観空（安居院実忠）〈在判〉	{へたうのすけ（別当典侍）との}	大01-354号-8に別案文、	未
実盛（三条）〈在判〉		大01-354号-11に別案文、	未
宗陳（古溪）／紹薫（督宗） ／宗訢（笑嶺）／宗順（和溪）	丹羽五郎左衛門尉（長秀） 殿		真124
家吉（中村）（花押）	宗雲 御返報	真05-671号に封紙か、	真071
中村七郎右衛門尉／家吉	宗雲〈参〉 御報	真05-670号の封紙か、	真072
			未
宗怡（花押）	徳禅寺／尊答		真053
宗重（中村）（花押）	御納所禅師		真054
宗重〔中村〕（花押）	徳禅寺／御納所 尊答		真055
宗重〔中村〕（花押）	徳禅寺納所禅師〈御中〉		真056
宗重〔中村〕（花押）	徳禅寺／納所禅師〈足下〉		真057
宗重〔中村〕（花押）	徳禅寺納所〈参〉		真058
宗重（中村）（花押）	徳禅寺〈参〉／侍者御中		真059
笑鷗院／宗運	拜答 徳禅寺／侍者禅師	真05-682号の封紙か、	真062
宗運（花押）	徳禅寺侍者禅師／尊答	真05-681号に封紙か、	真061
中村對馬入道／宗重	徳禅寺〈参〉 尊答	真05-684号の封紙か、	真061
宗重（中村）（花押）	徳禅寺／参 尊答	真05-683号の封紙か、	真062
勝吉〔中村〕	徳禅寺／尊答		真063
宗運（花押）	徳禅寺／侍衣禅師		真064
宗運（花押）	徳禅寺納所／看寮禅師		真065
勝吉〔中村〕（花押）	得禅寺／御納所御報		真066
勝吉〔中村〕（花押）	得禅寺御納所〈参〉／御返報		真067
宗運（花押）	徳禅寺／納所禅師〈足下〉		真068
勝吉〔中村〕（花押）	徳禅寺参人々御中		真070
勝忠〔中村〕（花押）	徳禅寺／参尊報		真074

## 1-(2) 真珠庵文書

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
真05	637	0			藤原氏女（大炊御門実綱後室）雜掌重陳状并具書案（中欠）	己	30	1
真05	637	1	觀應二年七月 日	13510070550	若狭名田庄知見村雜掌重陳状	己	30	1
真05	637	2	文永四年十二月廿六日	12670120260	觀空（安居院実忠）讓状案	己	30	4
真05	637	3	正應二年〔十月脱〕十三日	12890100130	三条実盛避状案	己	30	4
真05	667		（年未詳）三月廿六日	55550030260	大徳寺住持塔主等連署書状案	己	32	57
真05	670		（年未詳）十二月五日	55550120050	中村家吉書状（切紙）	己	32	69
真05	671		（年月日未詳）	55550550550	中村家吉書状封紙	己	32	70
真05	673		（年月日未詳）	55550550550	若狭栗屋氏・中村氏書状等包紙	己	30	59
真05	674		（年未詳）十月廿六日	55550100260	笑鷗軒宗怡書状（切紙）	己	30	58
真05	675		（永正十二年）九月十六日	15150090160	中村宗重書状（切紙）	己	30	39
真05	676		（永正十三年）九月二日	15160090020	中村宗重書状（切紙）	己	30	35
真05	677		（年未詳）十月廿八日	55550100280	中村宗重書状（切紙）	己	30	55
真05	678		（年未詳）十月廿九日	55550100290	中村宗重書状（切紙）	己	30	54
真05	679		（年未詳）十月廿九日	55550100290	中村宗重書状（切紙）	己	30	34
真05	680		（年未詳）霜月十五日	55550110150	中村宗重書状（切紙）	己	30	51
真05	681		「永正十六年」（十月廿一日？）	15190100210	笑鷗院宗運書状封紙	己	30	33
真05	682		（永正十六年？）十月廿一日	15190100210	笑鷗院宗運書状（切紙）	己	30	40
真05	683		「永正十六年」（十月廿五日？）	15190100250	中村宗重書状封紙	己	30	40
真05	684		（永正十六年？）拾月廿五日	15190100250	中村宗重書状（切紙）	己	30	33
真05	685		〔永正十七年〕十月廿三日	15200100230	中村勝吉書状（切紙）	己	30	36
真05	686		〔永正十七年〕十月廿四日	15200100240	笑鷗院宗運書状（切紙）	己	30	52
真05	687		（年未詳）十月廿六日	55550100260	笑鷗院宗運書状（切紙）	己	30	47
真05	688		〔永正八年〕八月晦日	15110080310	中村勝吉書状（切紙）	己	30	31
真05	689		〔大永三年〕十月十五日	15230100150	中村勝吉書状（切紙）	己	30	57
真05	690		（大永四年？）十月十八日	15240100180	笑鷗院宗運（鰥齋）書状（切紙）	己	30	41
真05	691		（年未詳）十月十六日	55550100160	中村勝吉書状（切紙）	己	30	50
真05	692		（享祿元年）閏九月十一日	15280095110	中村勝忠書状（切紙）	己	30	49

差 出	宛 所	備 考	県史番号
元隆〔粟屋〕(花押)	徳禅寺／尊報		真075
元隆〔粟屋〕(花押)	徳禅寺御納所／御返報		真076
勝忠〔中村〕(花押)	徳禅寺／御納所／尊報		真077
			未
覚圓(花山院兼信)	{御塔頭〈侍者〉}		未
			真005
納所左兵衛尉親清(花押)			真010
忠弘(花押)			真029
納所國治(花押)			真032
			未
			真003
藤原朝臣(三条実盛)〈判〉			真003
あましんけ(尼信解)〈判〉			真002
ふちわらのうちの女(藤原氏女、観世々)〈判〉			真006
〈日野ノ〉権中納言(日野資明)〈判〉	侍従阿闍梨御房		真017
散位(上杉朝定)〈御判〉	青孫四郎入道(盛喜)殿		真020
源親直(出浦)〈請文／裏判〉	進上 御奉行所		真021
沙弥盛喜〔青〕〈請文／裏判〉	進上 御奉行所		真023
御判(足利義詮)	左京権大夫(斯波家兼)殿		真031
		真05-745号-2を翻し包紙として利用、	真045
			真045
右中弁行知(安居院)	謹上 三条中将殿		真034
右中弁行知(安居院)	徹翁(義亨)上人禅室		未
右中弁行知(安居院)	謹上 三条中将殿		真035
右中弁行知(安居院)	謹上 三条中将殿		真036
右中弁行知(安居院)	謹上 藏人少輔殿		真037

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
真05	693		(年未詳) 九月十八日	55550090180	粟屋元隆書状 (切紙)	己	30	30
真05	694		(年未詳) 拾月九日	55550100090	粟屋元隆書状 (切紙)	己	30	53
真05	695		(年未詳) 拾月九日	55550100090	中村勝忠書状 (切紙)	己	30	56
真05	696		(年月日未詳)	55550550550	若狭名田莊文書等附箋	己	30	7
真05	715		「延文五」 / 壬四月廿日	13600045200	覚円 (花山院兼信) 書状	己	30	67
真05	717		弘安五年二月日	12820020550	若狭名田莊田村国次名所 当注文	己	33	47
真05	718		元弘貳年三月十六日	13320030160	蓮華王院納所香米錢請取 状	己	30	63
真05	719		くわんをう (観応) 二 年六月五日	13510060050	若狭名田莊田村上葉錢算 用状	己	30	61
真05	720		文和四年正月十一日	13550010110	蓮華王院納所修正料菓子 等請取状	己	30	69
真05	743		(年月日未詳)	55550550550	若狭名田莊証文包紙			未
真05	744	0			若狭名田莊坂本村支証文 書案	己	31	25
真05	744	1	(年月日未詳)	55550550550	若狭国名田莊坂本村相伝 系図案	己	31	25
真05	744	2	弘安三年九月十五日	12800090150	三条実盛名田庄坂本村壳 券案	己	31	25
真05	744	3	こうあん三年九月二日	12800090020	尼信解若狭名田莊坂本村 去状案	己	31	25
真05	744	4	正おう五年八月十七日	12920080170	藤原氏女 (観世々) 若狭 名田莊坂本村讓状案	己	31	26
真05	744	5	建武四年三月一日	13370030010	光厳上皇院宣案	己	31	26
真05	744	6	貞和三年八月八日	13470080080	室町幕府引付頭人奉書案	己	31	27
真05	744	7	貞和三年九月三日	13470090030	出浦親直請文案	己	31	27
真05	744	8	貞和三年九月十二日	13470090120	沙弥盛喜 (青) 請文案	己	31	28
真05	744	9	観應三年九月六日	13520090060	足利義詮御判御教書案	己	31	29
真05	745	0		55550550550	若狭名田莊相伝系図并紙 背包紙	己	31	30
真05	745	1	(年月日未詳)	55550550550	京都四条猪熊地文書包紙	己	31	30
真05	745	2	(年月日未詳)	55550550550	若狭名田莊相伝系図	己	31	31
真05	746	0			若狭名田莊田村知行安堵 繪旨案	己	31	32
真05	746	1	(康安二年) 八月十日	13620080100	後光厳天皇繪旨案	己	31	32
真05	746	2	(康安二年) 八月十日	13620080100	後光厳天皇繪旨案	己	31	32
真05	746	3	(康安二年) 九月六日	13620090060	後光厳天皇繪旨案	己	31	33
真05	746	4	(貞治元年) 十月十三日	13620100130	後光厳天皇繪旨案	己	31	33
真05	746	5	(貞治元年) 十一月十日	13620110100	後光厳天皇繪旨案	己	31	33

差 出	宛 所	備 考	県史番号
右中弁行知 (安居院)	謹上 藏人少輔殿		真038
右中弁行知 (安居院)	謹上 藏人權大輔殿		真039
大納言阿闍梨坊雜掌			真025
賢家 (粟屋) (花押)	徳禪寺 / 参 尊答		真060
國家 (粟屋) (花押)	宗運 (参) 侍者禪師		真073
			未
優阿弥 (花押) / しょうゑん (花押) / 清秀 (花押)			真027
			真028
〈御奉行布施〉下野前司 (貞基) 〈判〉 / 〈飯尾濃州〉沙弥 (貞元) 〈判〉	武田大膳大夫 (信賢) 殿		未
自若州 / 宗運	徳禪寺納所 / 看寮禪師 (尊答)		真069
法橋頼全 (花押) / 修理奉行 阿闍梨純性 (花押)			真008
納所親清 (花押)			真009
兵士所左衛門尉國親 (花押)			真016
兵士所親清 (花押)			真011
兵士所左衛門尉國親 (花押)、 ○次行にあり、			真015
			真048
			真046
			真044
			未
			真047
			真041
			真043
			真026
		若狭守藤原隆信の外題あり、	真001
番頭右近允 (花押) / 惣百姓 右馬允 (花押) / 番頭行阿弥 (花押)			真040

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
真05	746	6	(貞治元年)十一月廿四日	13620110240	後光嚴天皇綸旨案	己	31	34
真05	746	7	(貞治二年)後正月六日	13620015060	後光嚴天皇綸旨案	己	31	35
真05	747		觀応元年五月 日	13500050550	大納言阿闍梨坊雜掌目安	己	31	23
真06	754		(年未詳)三月七日	55550030070	粟屋賢家書状(封紙欠)	己	31	36
真06	755		(年未詳)五月十九日	55550050190	粟屋国家書状(封紙欠)	己	31	43
真06	757		(年月日未詳)	55550550550	若狭名田莊重書包紙			未
真06	772		觀應元年十二月十三日	13500120130	若狭国名田莊田村水損河成注進状	己	31	75
真06	773		觀応二年二月廿八日	13510020280	若狭国名田莊田村年貢米散用状	己	33	41
真06	774		長祿三年十一月七日	14590110070	室町幕府奉行人連署奉書案	己	31	68
真06	775		(年月日未詳)	55550550550	笑鷗院宗運書状封紙			未
真06	798		元徳貳年十二月廿七日	13300120270	蓮華王院領若狭国名田莊役金堂修理用途請取状	己	32	4
真06	799		元徳參年正月十日	13310010100	蓮華王院領若狭国名田莊役修正料菓子・松等請取状	己	32	2
真06	800		建武元年正月五日	13340010050	蓮華王院領若狭国名田莊役四月兵士布請取状	己	32	6
真06	801		元弘貳年四月廿三日	13320040230	蓮華王院領若狭国名田莊役四月兵士布請取状(堅切紙)	己	32	7
真06	802		元弘參年六月廿一日	13330060210	蓮華王院領若狭国名田莊役四月兵士布請取状	己	32	8
真06	806		(年月日未詳)	55550550550	若狭名田莊須惠野村相伝系図	己	32	17
真06	807		(年月日未詳)	55550550550	若狭名田莊知見村相伝系図	己	32	19
真06	808		(年月日未詳)	55550550550	若狭名田莊相伝系図	己	32	20
真06	809		(年月日未詳)	55550550550	若狭名田莊相伝系図	己	32	21
真06	810		(年月日未詳)	55550550550	若狭名田莊知見村相伝系図	己	32	23
真06	811		(年月日未詳)	55550550550	若狭名田莊田村損田注文	己	32	24
真06	814		(年月日未詳)	55550550550	若狭名田莊相伝系図	己	32	26
真06	815		[觀應元年九月 日]	13500090550	若狭名田莊田村河成注進状(後欠)	己	32	28
真06	816		(年月日未詳)	55550550550	若狭名田郷内御領立券注進状(後欠)	己	32	30
真06	817		ちやうち五年十二月日	13660120550	若狭名田莊田村番頭百姓年貢預り状	己	32	31

差 出	宛 所	備 考	県史番号
			真014
			真013
貞治〔進藤〕(花押)	{慶首座}		真080
僧増賢〈状〉	進上 安居院(行知)殿		真033
忠弘(花押)			真024
			真042
			真019
源内(花押)／次郎太夫(花押)／馬允(花押)／九郎次郎(花押)／沙弥佛通(花押)／下司(花押)			真019
			真019
{武(武田)／彦(彦次郎信豊)}	霜臺(六角定頼)／申給へ		真084
智嚴(花押)	拜覆 徳禅寺〈侍衣閣下〉		真078
智嚴(花押)	{〈徳禅寺〉納所 免僧禅師}		真081
寿文(花押)	{拜呈 徳禅寺禅室〈侍衣閣下〉}		真079
〈瑞峯院〉宗俣(春林)／ 〈興臨院〉宗胃(清庵)／ 〈陽{養}徳院〉宗條(玉堂)／ 〈龍源院〉宗九(徹岫)／ 〈如意庵〉宗慶(雲叔)／ 〈栽松軒〉宗顯(江隱)／ 〈塔主〉宗用(大歇)	閑嘯軒／几右		真083
梵伎(花押)	拾雲軒 返命		真082
忠弘(花押)			真022
〈季房(万里小路)〉左中弁 〈弁〉	謹上 花山院前中納言(兼信)殿	大01-332号に正文、大02-719号-5に別案文、	真007
			真004
権大僧都教承	謹々上 藤中納言(柳原資明)殿		真018
納所親清(花押)			真012

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
真06	819		(年月日未詳)	55550550550	若狭名田莊文書目録案	己	32	33
真06	823		(年月日未詳)	55550550550	若狭名田莊守延名所当注文	己	32	40
真06	824		(天文八年) 十二月十五日	15390120150	進藤貞治書状	己	32	41
真06	826		(年未詳) 七月廿四日	55550070240	僧増賢拳状	己	32	44
真06	828		貞和四年九月六日	13480090060	若狭名田莊田村年貢算用状	己	32	48
真06	832		(年月日未詳)	55550550550	若狭名田莊田村預所得分注文	己	32	79
真06	834	0			若狭名田莊田村注進状等	己	33	1
真06	834	1	〔正中貳年〈乙ノ丑〉九 〔月脱〕十九 日〕	13250090190	若狭名田莊田村別所名等 年貢公事注進状	己	33	2
真06	834	2	貞和貳年十一月廿八日	13460110280	若狭名田莊田村下司百姓 等連署起請文	己	33	3
真06	834	3	貞和二年十一月 日	13460110550	若狭名田莊田村小野名年 貢公事注文	己	33	5
真06	837		(天文八年十二月?)	15390120550	武田信豊書状等包紙	己	33	29
真06	838		(天文八年十一月)	15390110550	武田信豊書状	己	33	38
真06	839		(天文八年) 仲冬念八日	15390110280	普明院智嚴書状 (切紙)	己	33	33
真06	840		(天文八年) 十二月晦日	15390120310	普明院智嚴書状	己	33	34
真06	841		(天文八年) 十二月十五日	15390120150	慈光院寿文書状	己	33	30
真06	842		(天文八年) 八月十日	15390080100	大徳寺塔主等連署書状案	己	33	37
真06	843		(天文八年) 六月八日	15390060080	閑嘯軒梵伎書状 (切紙)	己	33	32
真06	845		貞和三年九月六日	13470090060	若狭名田莊田村上葉錢結 解状	己	33	44
真06	848		嘉曆四年四月十一日	13290040110	後醍醐天皇綸旨案 (豎切 紙)	己	33	49
真06	850		〔弘安三年〕(月日未 詳)	12800550550	若狭名田莊則重名檢注帳 注文	己	33	52
真99	未刊		「康永三」四月廿三日	13440040230	権大僧都教承書状	以	27	52
真99	未刊		正慶元年九月十七日	13320090170	蓮華王院納所御香代用途 請取状	以	27	69

差 出	宛 所	備 考	県史番号
散位藤原朝臣（花押）／阿波 権守中原朝臣（花押）／目代 大膳少進紀朝臣（花押）	名田村		徳001
大介藤原朝臣（重家）（花 押）	留守所		徳002
散位藤原朝臣（花押）／阿波 権守中原朝臣（花押）／目代 大膳進紀朝臣（花押）	當岐・三重兩村		徳003
□□□〔左馬権〕頭兼太皇 太后宮権大進大介平朝臣 （花押）	留守所	06裏-504-1の第二紙は06表 -219の右上に接続、	徳004
惣大判官代散位藤原（花押） ／阿波権守中原朝臣（花押） ／目代散位惟宗朝臣（花押）	名田村	06裏-486・06表-217・06裏- 504-1が接続、	徳005
陸奥守平朝臣（大仏宗宣） 判／相模守平朝臣（北条貞 時）判			徳006
頼藤（葉室）	進上 前左馬権頭殿		徳007
〈了隆父筆〉左衛門尉忠俊 〈□〉	謹上 修理亮殿		徳008
右衛門督資明（柳原）	大炊御門中將（季綱）殿	08裏-695-1・08裏-696-2 が接続、	徳009
権左少辨國俊（吉田）	進上 花山院前中納言（兼 信）殿		徳010
国俊（吉田）	謹上 花山院中納言入道 （覚円、花山院兼信）殿		徳011
権大僧都教承	謹々上藤中納言（柳原資 明）殿		徳012
散位（上杉朝定）（花押）	出浦彦四郎（親直）殿		徳013
源親直（出浦）〈請文〉（裏 花押）			徳014
右衛門尉重藤	謹上 阿賀宇（藤原清季） 殿		徳015
権大納言隆蔭（四条）	大納言阿闍梨御房		徳016
中納言資明（柳原）	因幡守殿	08裏-688・08裏-695-2が接 続、	徳017
権大納言隆蔭（四条）	謹上 花山院中納言入道 （覚円、花山院兼信）殿		徳018
隆蔭（四条）	謹上 花山院中納言入道 （覚円、花山院兼信）殿		徳019
治部卿（藤原有範）（花押）	福昌寺長老		徳020

## 1-(3) 徳禅寺文書

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
			永暦二年三月六日	11610030060	若狭国留守所下文		06裏	495
			永暦二年四月 日	11610040550	若狭国司庁宣		06裏	492
			永暦二年四月十三日	11610040130	若狭国留守所下文		06裏	485
			應保元年十一月 日	11610110550	若狭国司庁宣		06表	219
			應保元年十一月廿一日	11610110210	若狭国留守所下文		06裏	486
			永仁五年壬十月□日	12970105550	関東下知状案		08裏	697
			延慶三年七月十一日	13100070110	伏見上皇院宣		08裏	694
			元亨三年十一月廿四日	13230110240	大炊御門実綱家御教書		08表	666
			「暦广三」七月廿八日	13400070280	光厳上皇院宣		08裏	695
			(年未詳) 八月十一日	55550080110	光厳上皇院宣		08裏	687
			(年未詳) 八月十六日	55550080160	光厳上皇院宣		08裏	686
			(康永三年?) 十二月十四日	13440120140	権大僧都教承書状		08表	674
			貞和三年八月八日	13470080080	室町幕府引付頭人(上杉朝定)奉書		08表	668
			貞和三年八月廿二日	13470080220	出浦親直請文		08表	692
		0		13490060070	若狭国名田莊坂本村并和多田村河手関係院宣案		08表	671
		1	(貞和五年) 六月七日	13490060070	光厳上皇院宣案		08表	671
		2	(貞和五年) 六月七日	13490060070	光厳上皇院宣案		08表	671
			(年未詳) 三月六日	55550030060	光厳上皇院宣		08裏	688
			(觀応元年) 五月十五日	13500050150	光厳上皇院宣案		08表	663
			(年未詳) 十一月十二日	55550110120	光厳上皇院宣案		06裏	505
			觀應二年五月廿日	13510050200	室町幕府禅律方頭人(藤原有範)奉書		08表	673

差 出	宛 所	備 考	県史番号
左少将季光（大炊御門）	謹上 吉田前中納言（国俊）殿		徳021
覚円（花山院兼信）〈判〉		大373号-2に別案文、	未
覚円		大373号-3に別案文、	徳022
義亨	千本殿	大373号-4に別案文、	徳023
		徳07裏-611・07裏-609が 僅かの欠損を挟んで上下に接続、	
	徹翁[ ]禪室	徳07裏-611・07裏-609が 僅かの欠損を挟んで上下に接続、	徳024
	進上 右□□〔大将〕（西園寺実俊）殿	徳07裏-611・07裏-609が 僅かの欠損を挟んで上下に接続、	徳025
	謹上 鎌倉宰相中將（足利義詮）殿	徳07裏-611・07裏-609が 僅かの欠損を挟んで上下に接続、大01-161号に正文、	徳026
		徳07裏-611・07裏-609が 僅かの欠損を挟んで上下に接続、冒頭の一行「□□〔若狭〕國名田□〔庄カ〕田村」のみ存す、	未
	謹上 花山院中[ ]（兼信）	徳07裏-610の第一紙・07裏-608の第一紙が上下に接続、光厳上皇院宣または後光厳天皇の綸旨ならん、	徳027
		徳08表-680・08裏-682・08表-678が接続、	徳028
藤原朝臣（三条実盛）〈判〉 ○袖にあり、侍従藤原朝臣〈判〉〈嫡子公久〉／藤原氏女〈判〉〈公久母儀〉／實盛卿室家	{藤原氏女}	徳08表-680・08裏-682・08表-678が接続、	徳028
沙門静舜（花押）／にんくう（花押）		徳08表-680・08裏-682・08表-678が接続、	徳028
左中辨平行知（安居院）	進上 右大将（西園寺実俊）殿	徳06表-222に裏紙、	徳029
右大将実俊（西園寺）	謹上 鎌倉大納言（足利義詮）殿		徳030
右大将実俊（西園寺）	謹上 鎌倉大納言（足利義詮）殿		徳031

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
			(年未詳) 七月十九日	55550070190	大炊御門季光書状		08裏	690
		0			若狭国名田莊田村關係文書案		06裏	483
		1	延文五年〈庚／子〉四月廿五日	13600040250	花山院覚円(兼信)讓状案		06裏	483
		2	(延文五年) 後四月十三日	13600045130	花山院覚円(兼信)讓状案		06裏	483
		3	(延文五年) 壬四月十三日	13600045130	義亨(徹翁)返状案		06裏	483
		0			若狭国名田莊田村・下村關係文書案		07裏	611
		1	延文□〔五〕年後四月〔 〕	13600040550	後光嚴天皇綸旨案		07裏	611
		2	(年未詳) 十一月〔月〕六日	55550110060	後光嚴天皇綸旨案		07裏	611
		3	(年未詳) 十一□〔月〕七日	55550110070	西園寺実俊書状案		07裏	611
		4	(年月日未詳)	55550550550	若狭国名田莊田村關係文書案断簡		07裏	611
			(年未詳) [ ]月[ ]	55550550550	某奉書		07裏	610
		0			三条実盛讓状案并沙門静舜等避状		08表	680
		1	弘安十年〈歲次／丁亥〉十二月廿四日	12870120240	三条実盛讓状案		08表	680
		2	貞治貳年四月十七日	13630040170	沙門静舜等避状		08表	678
			(貞治二年) 十一月五日	13630110050	後光嚴天皇綸旨		06表	221
			〔貞治二年〕 十一月十日	13630110100	武家執奏西園寺実俊書状		06表	211
			(貞治二年) 十一月廿日	13630110200	武家執奏西園寺実俊書状		08裏	683

差 出	宛 所	備 考	県史番号
時光（日野）		徳08表-676・08表-667が 接続、	徳032
内大臣（西園寺実俊）（花押）	鎌倉大納言（足利義詮）殿	徳08裏-700・08裏-696-1が 接続、	徳033
右少辨仲光（広橋）	謹上 頭中将殿	徳08表-669・08表-677-2が 接続、	徳034
		徳03表-307・03裏-362-2が 上下に接続、	徳035
若狭國名田庄内田村雜掌頼俊		徳06裏-499・06裏-481が 接続、	徳036
大徳寺雜掌			徳037
実盛（三条）〈在御判〉	別當のすけとのへ	大354号-10・真637号-3に 別案文、	未

差 出	宛 所	備 考	県史番号
（花押）（足利義持）	三宝院前大僧正（満濟）御房	分類番号；01函-06-06、	醍082
		足利義教の袖判あり、押紙「普広院殿安堵目録御判」、分類番号；01函-07-03、	未
		足利義政の袖判あり、押紙「慈照院殿物目録」、分類番号；01函-09-02、	醍150
		押紙「慈照院殿物御目録」、分類番号；01函-10-01、	醍089
		押紙「一物目録、一通、普広院殿安堵御判、一通、合式通」、分類番号；01函-13-01、	未
		袖に「〈普広院殿（足利義教）御袖判」とあり、分類番号；15函-32、	未
		袖に「〈普広院殿様（足利義教）御袖判」とあり、分類番号；15函-33、	未

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
			「貞治三」十月廿四日	13640100240	日野時光書状		08表	666
			(貞治三年?) 四月二日	13640040020	武家執奏西園寺実俊施行状		08裏	700
			(年未詳) 八月十六日	55550080160	彈正親王(邦省) 庁令旨		08表	669
			(貞治六年)(月日未詳)	13670550550	徳禅寺雜掌目安案		03表	307
			應安元年八月 日	13680080550	若狭国名田莊内田村雜掌頼俊申状		06裏	499
			(年月日未詳)	55550550550	大徳寺雜掌寺領注文案		03裏	342
			正應二年十月十三日	12890100130	三条実盛避状案		08裏	665

## 2. 醍醐寺文書

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
醍01	88		應永廿五年七月十日	14180070100	足利義持自筆書状	1	2	7
醍01	111		(年月日未詳)	55550550550	醍醐寺方管領諸門跡等所領目録	1	2	34
醍01	121		(年月日未詳)	55550550550	醍醐寺方管領諸門跡等所領目録	1	2	51
醍01	123		文安六年四月十一日	14490040110	三宝院門跡管領諸職諸領目録	1	2	60
醍01	140		〔正長二年七月二日〕	14290070020	醍醐寺方管領諸門跡等所領目録案	1	2	85
醍10	2344	2	〔正長二年〕	14290550550	三宝院管領所職所領目録案	15	乾	85
醍10	2345	2	(正長二年)	14290550550	三宝院管領所職所領目録案	15	乾	91

差 出	宛 所	備 考	県史番号
前丹後守（松田長秀）〈判〉 ／中務大輔〈判〉	武田大膳大夫（元信）殿		土011

差 出	宛 所	備 考	県史番号
右大弁（坊城俊冬）〈判〉	縫殿頭（土御門有世）殿	東京大学史料編纂所所蔵影写本『土御門文書』2冊-14丁（以下、影写本2-14丁のように略記）所収、	土003
沙弥（白井行胤）（花押） ／右衛門尉（斎藤五郎右衛門尉）（花押）		影写本2-30丁所収、	土006
長方	兩奉行御中	本文書及び寛正六年三月二日「室町幕府奉行人連署奉書案」を折紙の上下に写す、	土007
親基（斎藤）〈判〉／之種（飯尾）〈判〉	武田大膳大夫（信賢）殿	写真帳10丁（上段）に別案文、	土008
親基（斎藤）〈判〉／之種（飯尾）〈判〉	武田大膳大夫（信賢）殿	本文書と次号文書を折紙の上下に写す、写真帳9丁に別案文、	未
栄長	粟屋九郎左衛門尉殿	本文書と前号文書を折紙の上下に写す、若杉家文書18号に別案文、	未
貞有（飯尾）〈判〉／秀興（松田）〈判〉	武田大膳大夫（国信）殿		土009
貞有（飯尾）〈判〉／英基（布施）〈判〉	武田大膳大夫（国信）殿	若杉家文書23号に正文、	未
元定（清）（花押）／為信（飯尾）（花押） ／英基（布施）（花押）	武田大膳大夫（国信）殿	写真帳15丁に案文、	土010
元定（清）判／為信（飯尾）判 ／英基（布施）判	武田大膳大夫（国信）殿	写真帳14丁に正文、	未
之秀（飯尾）判／基雄（斎藤）判 ／政親（撰津）判	武田大膳大夫（元信）殿		土015
頼興（松田）判／秀俊（松田）判 ／貞運（飯尾）判 ／元造（撰津）判	武田伊豆守（元光）殿	写真帳29丁に正文、写真帳28丁に別案文、	未
頼興（松田）判／秀俊（松田）判 ／貞運（飯尾）判 ／元造（撰津）判	武田伊豆守（元光）殿	写真帳29丁に正文、写真帳27丁に別案文、	未
頼興（松田）（花押）／秀俊（松田）（花押） ／貞運（飯尾）（花押） ／元造（撰津）（花押）	武田伊豆守（元光）殿	写真帳27丁・28丁に案文、	土017

3-(1) 土御門家文書

①宮内庁書陵部所蔵「即位関係文書」(土—89)

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
			文亀元年閏六月廿六日	15010065260	室町幕府奉行人連署奉書案 (折紙)			

②宮内庁書陵部所蔵「土御門家文書」(土—105)

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
			文和二年十一月十五日	13530110150	後光嚴天皇綸旨案			(1)
			貞治五年九月廿一日	13660090210	室町幕府奉行人連署打渡状			(5)
			永徳三〈癸／未〔亥〕〉 ／十月十五日	13830100150	長方奉書案 (折紙)			(8)
			文明二／八月廿五日	14700080250	室町幕府奉行人連署奉書案 (折紙)			(9)
			文明二／八月廿五日	14700080250	室町幕府奉行人連署奉書案 (折紙)			(10)
			文正元／七月十七日	14660070170	武田氏奉行人奉書案 (折紙)			(10)
			文明五／十一月廿五日	14730110250	室町幕府奉行人連署奉書案 (折紙)			(11)
			文明八／九月十八日	14760090180	室町幕府奉行人連署奉書案 (折紙)			(13)
			「文明八」／十月七日	14760100070	室町幕府奉行人連署奉書案 (折紙)			(14)
			文明八／十月七日	14760100070	室町幕府奉行人連署奉書案 (折紙)			(15)
			永正七／十二月十三日	15100120130	室町幕府奉行人連署奉書案 (折紙)			(21)
			大永元／十二月十日	15210120100	室町幕府奉行人連署奉書案 (折紙)			(27)
			大永元／十二月十日	15210120100	室町幕府奉行人連署奉書案 (折紙)			(28)
			「大永元」／十二月十日	15210120100	室町幕府奉行人連署奉書案 (折紙)			(29)

差 出	宛 所	備 考	県史番号
〈津掃部頭〉元造判	松田左衛門大夫（頼興）殿		土016
西村与三右衛門尉／元治（西村）（花押）	土御門修理大夫（有春）殿／〈参〉御宿所		土019
西村与三右衛門尉／元治（西村）（花押）	土御門三位（有春）殿／人々御中		土020
頼興（松田）（花押）	中務大輔（土御門有春）殿		土018
西村与三右衛門尉／元治（西村）（花押）	上村／御百姓中		土021
西村与三／光治（西村）（花押）	土御門二位（有春）殿／御報		土023
〔伊〕	〔畑田藤左衛門尉（泰清）殿〕		土022

差 出	宛 所	備 考	県史番号
（花押）○附箋「四条大納言隆蔭卿」	前大炊権助殿	影写本 2-10丁所収、	土001
左少弁（花押）	前□□〔大炊カ〕頭殿	影写本 2-79丁所収、若杉家文書66号に案文、	土002
右大辨（坊城俊冬）（花押）	縫殿頭（土御門有世）殿	影写本 2-16丁所収、20丁に裏紙、18丁に案文、	土004
〈俊冬朝臣〉右大辨（坊城俊冬）	縫殿頭（土御門有世）殿	影写本 2-18丁所収、16丁・20丁に正文、	未
〔右大辨（坊城俊冬）（花押）〕	〔縫殿頭（土御門有世）殿〕	影写本 2-20丁所収、16丁に本紙、18丁に案文、	土004
左兵衛佐（吉良満貞）（花押）	民部少輔（斯波義種）殿	影写本 2-26丁所収、28丁・若杉家文書 3号に案文、	土005
左兵衛佐（吉良満貞）判	民部少輔（斯波義種）殿	影写本 2-28丁所収、26丁に正文、若杉家文書 3号に案文、	未

差 出	宛 所	備 考	県史番号
（朱印）（織田信長）	土御門治部大輔（久脩）とのへ	影写本 2-52丁所収、	土024

差 出	宛 所	備 考	県史番号
（花押）（一色範光）	小笠原三河入道（浄祐）殿		未

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
			大永元／十二月十日	15210120100	撰津元造書状案（折紙）			(30)
			天文八／四月十三日	15390040130	西村元治書状（折紙）			(63)
			天文十五年／九月十二日	15460090120	西村元治書状（折紙）			(66)
			（大永元年）十二月十日	15210120100	松田頼興書状（折紙）			(74)
			（年未詳）十二月廿七日	55550120270	西村元治書状（折紙）			(93)
			（年未詳）十一月十九日	55550110190	西村光治書状（折紙）			(99)
			（年未詳）三月九日	55550030090	某書状			(102)

③宮内庁書陵部所蔵「繪旨」（土—111）

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
			「勸應二（辛／卯）」七月廿八日	13510070280	光嚴上皇院宣			
			（年未詳）九月十四日	55550090140	後光嚴天皇繪旨			
			文和四年五月十日	13550050100	後光嚴天皇繪旨（本紙）			
			文和四年五月十日	13550050100	後光嚴天皇繪旨案			
			〔文和四年五月十日〕	13550050100	後光嚴天皇繪旨（裏紙）			
			貞治三年十二月四日	13640120040	室町幕府引付頭人吉良満貞奉書			
			貞治三年十二月四日	13640120040	室町幕府引付頭人吉良満貞奉書案			

④宮内庁書陵部所蔵「朱印状」（土—113）

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
			「天正五」十一月廿八日	15770110280	織田信長朱印状			

④東京大学史料編纂所所蔵土御門家文書（貴04—1）

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
			應永十年十二月廿五日	14030120250	若狭守護一色範光遵行状			18

差 出	宛 所	備 考	県史番号
伊与権守(大高重成)(花押)	関平内左衛門尉殿/山崎首藤藤左衛門尉(助信)殿		若001
左衛門佐(吉良満貞)判	民部少輔(斯波義種)殿	宮内書陵部所蔵「綸旨」(土-111)のうちに正文及び別案文、正文は『県史』土005に翻刻、	未
貞秀(松田)判	両御使中		若002
満範(一色)/判	小笠原参川入道(浄祐)殿		若003
左衛門尉(中沢氏綱)(花押)/沙弥(飯尾是清)(花押)/掃部頭(摂津能秀)(花押)	守護(一色詮範)		若004
、判(小笠原浄祐)	蓬澤左近将監殿		若005
長春(小笠原)判	藤田修理亮入道殿		若006
〈長禪寺殿〉沙弥(畠山基国)判	一色左京大夫入道(詮範)殿		若007
永禪〔祥〕(飯尾)判/性通(飯尾)同/真妙(飯尾)同			若008
〈斎藤民部〉親基/松田水〔丹〕後守 秀興	武田大膳大夫(信賢)殿		若010
栄長	栗屋九郎左衛門尉殿	宮内庁書陵部所蔵「土御門家文書」(土-105)のうちに別案文、	若011
忠郷(布施)(花押)/秀興(松田)(花押)	武田大膳大夫(信賢)殿		若012
貞有(飯尾)(花押)/英基(布施)(花押)	武田大膳大夫(国信)殿	宮内庁書陵部所蔵「土御門家文書」(土-105)のうちに別案文、	若013
栗屋左京亮/賢行	則光佐渡入道殿〈御宿所〉		若014
武田伊豆守源朝臣「信豊」○自署、			若015
武田伊豆守源朝臣「信豊」○自署、			若016
武田伊豆守源朝臣「信豊」○自署、			若017
武田伊豆守源朝臣「信豊」○自署、			若018
武田伊豆守源朝臣「信豊」○自署、		若杉家文書45号に正文、44号に別案文、ただし名乗「信豊」はいずれも自署にかかる、	未

## 3-(2) 若杉家文書

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
	2		曆應元年十月七日	13380100070	若狭国守護大高重成遵行状			(530)
	3		貞治三年十二月四日	13640120040	室町幕府引付頭人吉良満貞奉書案			(528)
	4		康應二年〈庚ノ午〉ノ二月十九日	13900020190	室町幕府奉行人連署奉書案			(527)
	5		明德四ノ十一月十五日	13930110050	一色満範書状案			(525)
	8		應永三年十二月十五日	13960120150	室町幕府奉行人連署奉書			(520)
	9		應永四ノ卯月廿日	13970040200	若狭国守護代小笠原浄祐奉書案			(518)
	11		應永六ノ六月廿六日	13720060260	若狭国守護代小笠原長春書状案			(515)
	13		應永十年十二月廿三日	14030120230	室町幕府管領施行状写			(513)
	14		嘉吉元ノ七月廿四日	14410070240	室町幕府奉行人連署奉書案(折紙)			(512)
	16		文正元ノ四月十七日	14660040170	室町幕府奉行人連署奉書案(折紙)			(505)
	18		文正元ノ七月十七日	14660070170	武田氏奉行人奉書案(折紙)			(502)
	19		応仁元ノ十月廿日	14670100200	室町幕府奉行人連署奉書案(折紙)			(501)
	23		文明八ノ九月十八日	14760090180	室町幕府奉行人連署奉書案(折紙)			(491)
	26		長享二ノ十二月十六日	14880120160	武田氏奉行人奉書案(折紙)			(485)
	39		天文廿二年正月吉曜	15530010550	武田信豊泰山府君祭都状			(467)
	40		天文廿三年十一月吉曜	15540110550	武田信豊泰山府君祭都状			(466)
	41		天文廿四年二月吉曜	15550020550	武田信豊泰山府君祭都状			(465)
	42		弘治元年十二月吉曜	15550120550	武田信豊泰山府君祭都状			(464)
	43		弘治二年十一月吉曜	15560110550	武田信豊泰山府君祭都状案			(462)

差 出	宛 所	備 考	県史番号
武田伊豆守源朝臣「信豊」 ○自署、		若杉家文書45号に正文、43号に別案文、ただし名乗「信豊」はいずれも自署にかかる、	未
武田伊豆守源朝臣「信豊」 ○自署、		若杉家文書43号・44号に案文、ただし名乗「信豊」はいずれも自署にかかる、	若019
武田伊豆守源朝臣「信豊」 ○自署、			若020
			若021
〈飯河肥後守〉信賢〈在／判〉	真下宮内少輔殿		若022
秀吉（豊臣）判	中山中納言（親綱）殿／人々御中		若025
左少弁（花押）	□□□□〔前大炊頭カ〕殿	宮内庁書陵部所蔵「綸旨」（土-111）のうちに正文、『県史』土002に翻刻、	未
土御門三位有脩（花押）	長東新三郎殿〈参〉		若023
繁経〈判〉／長行（栗屋） 〈判〉	則光太郎左衛門〔門脱〕尉殿		若009
			若024

差 出	宛 所	備 考	県史番号
釋義亨		大376号の院宣に対する陳状、『野村美術館名品図録』1-100号所収	未

差 出	宛 所	備 考	県史番号
左少弁（平親頭）（花押）	全岐上人御房		泉001
（花押）（足利義持）、○袖にあり、			泉002
綱光	知久遠院知穩御房	影写本2冊-42丁にも所収、	泉003

差 出	宛 所	備 考	県史番号
相模守源朝臣（細川頼之） 〈判〉	{曾我美濃守氏助法師〈法名／道昌〉}	東京大学史料編纂所所蔵影写本『和簡礼経』（内閣文庫原蔵、曾我尚祐編）1冊-104丁にも写あり、	松006

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
	44		弘治二年十一月吉曜	15560110550	武田信豊泰山府君祭都状案			(460)
	45		弘治二年十一月吉曜	15560110550	武田信豊泰山府君祭都状			(459)
	46		弘治三年正月吉日	15570010550	武田信豊泰山府君祭都状			(458)
	50		永禄七年六月二日	15640060020	某安堵状案			(452)
	51		永禄十三／二月十四日	15700020140	飯河信賢奉書案（折紙）			(450)
	64		（年未詳）六月廿六日	55550060260	豊臣秀吉書状写			(432)
	66		（年未詳）九月十四日	55550090140	後光厳天皇綸旨			(430)
	67		（年未詳）十月廿日	55550100200	土御門有修申状			(428)
	68		（年未詳）十月廿五日	55550100250	武田氏奉行人連署奉書案（折紙）			(426)
	71		（年月日未詳）	55550550550	土御門有修覚書（書きかけ）			(423)

#### 4. その他

##### 4-1) 野村美術館所蔵文書

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
			（貞和二年・三年）十月十七日	55550100170	徹翁義亨書状			

##### 4-2) 泉涌寺文書

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
			文和三年十二月九日	13540120090	後光厳天皇綸旨	影	1	30
			應永十七年十月五日	14100100050	足利義持袖判御教書	影	1	56
			（年未詳）八月廿七日	55550080270	広橋綱光奉書	写	1	70

##### 4-3) 金沢市立図書館所蔵『松雲公採集遺編累纂』136（曾我文書）

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
			應安四年十二月廿五日	13710120250	室町幕府管領奉下知状写			

差 出	宛 所	備 考	県史番号
沙弥成願〈在判〉	謹上 遠江律師御房〈御返事〉		葛001

差 出	宛 所	備 考	県史番号
		『小浜市史』諸家文書編3 「中世文書」90号に翻刻、 『京都大学文学部博物館の古 文書』第2輯（若狭秦家文 書）16号に写真版と翻刻、	／

## 4-4) 葛川文書

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
			(年未詳) 三月四日	55550030040	帆足成願書状案	甲	1	13

## 4-5) 秦文書

刊本文書番号			和 曆	西 曆	文 書 名	写真帳冊次		
冊次	文書番号	小番号				函名	冊次	丁数
			貞和四年〈戊ノ子〉四月廿二日	13480040220	天満宮造営入雑用錢注文		1	121

【別表】 東京大学史料編纂所所蔵（影写本）『徳禪寺文書』（全四冊）所収文書目録

通番	名田莊 関係文書	未翻刻 文書	影写本冊次		年月日	西曆	文書名	大徳寺文書写真帳			刊本文書番号 冊次 文書番号 小番号			
			書名 冊次	丁数				函名	冊次	丁数		冊次		
1	○		徳	1	1	(年月日未詳)	55550550550	名田庄相伝系図	甲	7	1	大01	364	0
2	○		徳	1	2	仁安三年十一月廿九日	11680110290	名田郷開秀頼主盛信相傳状案	甲	7	2	大01	364	2
3	○		徳	1	3	安元々年二月六日	11750020060	伊予内侍謙状案	甲	7	3	大01	364	3
4	○		徳	1	3	けんほう（建保）三年十二月十六日	12150120160	大姫御前謙状案	甲	7	3	大01	364	4
5	○		徳	1	4	正嘉二年八月日	12580080550	安居院觀空（実忠）謙状案	甲	7	3	大01	364	5
6	○		徳	1	4	建治三年八月日	12770080550	安居院觀空（実忠）重謙状案	甲	7	4	大01	364	6
7	○		徳	1	5	〔正和四〕十月十一日	13150100110	後宇多法皇院宣案	甲	7	4	大01	364	7
8	○		徳	1	5	嘉元二年九月三日	13040090030	龜山法皇院宣案	甲	7	5	大01	364	8
9	○		徳	1	6	嘉元々年十一月十四日	13030110140	三条実盛謙状案	甲	7	6	大01	364	9
10	○		徳	1	7	延慶三年七月廿五日	13100070250	後宇多法皇院宣案	甲	7	6	大01	364	10
11	○		徳	1	7	延慶三年九月六日	13100090060	万秋門院令旨案	甲	7	6	大01	364	11
12	○		徳	1	8	〔延慶三〕九月十八日	13100090180	後宇多法皇院宣案	甲	7	7	大01	364	12
13	○		徳	1	8	延慶元年十二月十二日	13080120120	伏見上皇院宣案	甲	7	7	大01	364	13
14	○		徳	1	8	(年月日未詳)	55550550550	伏見上皇院宣案	甲	7	7	大01	364	14
15	○		徳	1	9	嘉元三年四月十日	13050040100	龜山法皇院宣案	甲	7	8	大01	364	15
16	○		徳	1	9	〔嘉元三年閏五月九日〕	13050050590	龜山法皇院宣案	甲	7	8	大01	364	16
17	○		徳	1	10	(年未詳) 十月十三日	55550100130	伏見上皇院宣案	甲	7	8	大01	364	17
18	○		徳	1	10	文保二年四月十日	13180040100	後宇多法皇院宣案	甲	7	9	大01	364	18
19	○		徳	1	10	元弘三年六月廿四日	13330060240	後醍醐天皇諭旨案	甲	7	9	大01	364	19
20	○		徳	1	11	〔建武三〕九月九日	13360090090	光厳院院宣案	甲	7	9	大01	364	20
21	○		徳	1	11	〔建武三〕九月廿一日	13360090210	足利尊氏書状案	甲	7	9	大01	364	21
22	○		徳	1	11	文和二年十二月廿七日	13530120270	後光厳天皇諭旨案	甲	7	10	大01	364	22
23	○		徳	1	12	承久三年閏十月十二日	12210105120	関東下知状	別	2	75	大01	137	

通番	名田庄 関係文書	未翻刻 文書	影写本冊次		年 月 日	西 曆	文 書 名	大徳寺文書写真帳		刊本文書番号				
			冊次	丁数				函名	冊次	丁数	冊次	文書番号	小番号	
24	○		徳	1	13	(延慶三年) 八月七日	13100080070	伏見上皇院宣	甲	5	84	大01	320	
25	○		徳	1	16	(年未詳) 七月十七日	55550070170	葉室光顯奉書	甲	5	87	大01	321	
26	○		徳	1	18	正嘉二年八月日	12580080550	安居院觀空(実忠) 謙状	甲	5	73	大01	315	
27			徳	1	20	[正應三年] 八月卅日	12900080300	伏見天皇繪旨	別	2	66	大01	132	
28			徳	1	22	永仁四年二月七日	12960020070	伏見天皇繪旨	別	2	63	大01	129	
29	○		徳	1	24	正安四年十一月十一日	13020110110	三条実盛謙状	甲	5	75	大01	316	
30	○		徳	1	26	乾元二年五月廿五日	13030050250	三条実盛置文	別	2	76	大01	138	
31	○		徳	1	28	嘉元々年十一月十四日	13030110140	三条実盛謙状	甲	5	77	大01	317	
32	○		徳	1	30	[嘉元三年五月九日]	13050050090	龜山法皇院宣	甲	5	80	大01	318	
33			徳	1	32	正和五年三月 日	13160030550	但馬八代庄禪家寺領寄進状	別	2	78	大01	139	
34	○		徳	1	34	(貞治元・二年) 三月九日	55550030090	後光嚴天皇繪旨	別	2	70	大01	134	
35	○		徳	1	35	(貞治三―五年) 四月一日	55550040010	後光嚴天皇繪旨	別	2	71	大01	135	
36	○		徳	1	37	(貞治二・三年) 七月廿九日	55550070290	彈正親王(邦省) 庁令旨	甲	7	30	大01	374	
37	○	○	徳	1	39	(康安元―貞治元年) 十一月六日	55550110060	後光嚴天皇繪旨						
38	○		徳	1	41	(康安元―貞治元年) 十一月十九日	55550110190	後光嚴天皇繪旨	別	2	73	大01	136	
39			徳	1	43	元亨元年十月五日	13210100050	但馬八代庄禪家寺領寄進状	別	2	79	大01	140	
40	○		徳	1	45	[元亨三] 十一月八日	13230110080	後醍醐天皇繪旨案	甲	5	89	大01	323	
41	○		徳	1	47	[元亨三] 十月十三日	13230100130	後醍醐天皇繪旨案	甲	5	88	大01	322	
42	○		徳	1	49	(元亨元年) 七月五日	13210070050	別当典侍局置文案	甲	6	38	大01	343	
43	○		徳	1	52	[嘉暦二] 四月十三日	13270040130	後醍醐天皇繪旨	甲	6	1	大01	326	
44	○		徳	1	54	(嘉暦二年) 五月三日	13270050030	後醍醐天皇繪旨案	甲	6	3	大01	327	
45	○		徳	1	56	(元弘二年) 正月廿四日	13320010240	僧実馨奉状	甲	6	14	大01	333	
46	○		徳	1	58	(年未詳) 九月十六日	55550090160	光嚴院院宣案	甲	6	33	大01	340	
47	○		徳	1	60			僧賢舜請文案并花山院兼信書状案	甲	6	8	大01	330	0
	○		徳	1	60	[嘉暦二年) 八月廿二日	13270080220	花山院兼信書状案	甲	6	10	大01	330	2

通番	名田庄 関係文書	未翻刻 文書	影写本冊次		年 月 日	西 曆	文 書 名	大徳寺文書写真帳				刊本文書番号 文書番号 小番号	
			冊次	丁数				函名	冊次	丁数	冊次		文書番号
48	○		徳	1	62	(嘉暦二年)	僧賢禪請文案	甲	6	9	大01	330	1
49	○		徳	1	64	(貞和二年頃) 五月廿四日	光嚴院院宣	甲	6	34	大01	341	
50	○		徳	1	66	(貞和五・六年) 六月二日	光嚴院院宣	甲	6	64	大01	351	
51	○		徳	1	68	(年未詳) 七月十八日	光嚴院院宣案	甲	6	31	大01	339	
52	○		徳	1	69	かりやく (嘉暦) 三年二月八日	権大納言典侍局諫状	甲	6	11	大01	331	
53	○		徳	1	70	「嘉暦二」六月十三日	後醍醐天皇諭旨案	甲	6	4	大01	328	
54	○		徳	1	71	嘉暦貳年十月十日	公禱契約状	別	2	80	大01	141	
55	○		徳	1	74	「元弘二」二月廿二日	光嚴院院宣	甲	6	16	大01	334	
56			徳	1	76	元弘三年七月十四日	中原國盛寄進状	別	2	82	大01	142	
57			徳	1	78	建武貳年(乙/亥)十一月十九日	八代宗真寄進状	別	2	83	大01	143	
58	○		徳	1	80	(建武二年) 十一月五日	後醍醐天皇諭旨案	甲	6	17	大01	335	
59	○		徳	1	82	(建武三年) 九月廿一日	足利尊氏書状	別	2	84	大01	144	
60	○		徳	1	83	〔曆徳二年〕十月八日	今出川美尹書状	別	2	85	大01	145	
61	○		徳	1	84	曆徳三年十一月十三日	花山院覚円(兼信)寄進状	別	2	86	大01	146	
62	○		徳	1	86	〔康永二〕九月十五日	光嚴院院宣	甲	6	30	大01	338	
63	○		徳	1	88	貞和二年十一月十九日	僧行寛契状	甲	6	35	大01	342	
64	○		徳	1	91	貞和二年十一月廿日	清原友盛起請文	甲	6	40	大01	344	
65	○		徳	1	93	〔貞和三〕十月七日	光嚴院院宣	別	2	68	大01	133	
66	○		徳	1	95	〔貞和三年〕十月十五日	延暦寺煙主(尊胤法親王)令旨	別	2	87	大01	147	
67	○		徳	1	97	〔貞和四〕八月十七日	万里小路仲房書状	甲	6	41	大01	345	
68	○		徳	1	99	貞和四年八月十八日	花山院覚円(兼信)寄進状	別	2	88	大01	148	
69	○		徳	1	100	(年未詳) 十二月廿三日	光嚴院院宣	甲	6	58	大01	348	
70	○		徳	1	102	(正中年間) 六月九日	僧経乗書状	甲	5	90	大01	324	
71	○		徳	1	105	〔貞和五〕三月八日	光嚴院院宣案	甲	6	61	大01	349	
72	○		徳	2	1	貞和五年閏六月 日	若狭名田庄須惠野村陳状案并具書案 名田庄須惠野村陳状案	甲	6	43	大01	346	0

通番	名田莊 関係文書	未翻刻 文書	影写本冊次		年 月 日	西 曆	文 書 名	大徳寺文書写真帳		刊本文書番号			
			冊次	丁数				函名	冊次	丁数	冊次	文書番号	小番号
73	○		徳	2	1	(年月日未詳)	名田庄須惠野村相伝采因	甲	6	44	大01	346	2
74	○		徳	2	2	寶治二年四月 日	尼生弘讓状案	甲	6	45	大01	346	3
75	○		徳	2	3	正應五年八月廿四日	僧慧雅附属状案	甲	6	46	大01	346	4
76	○		徳	2	3	正和三年正月十九日	僧経兼謙状案	甲	6	48	大01	346	5
77	○		徳	2	4	元徳參年六月廿三日	僧勝深安堵状案	甲	6	48	大01	346	6
78	○		徳	2	4	寶治二年四月廿四日	安居院觀空(実忠)・同公直進署去状案	甲	6	49	大01	346	7
79	○		徳	2	5	弘安九年十一月八日	文殿注進状案	甲	6	49	大01	346	8
80	○		徳	2	6	正應三年十月廿九日	後深草上皇院宣案	甲	6	50	大01	346	9
81	○		徳	2	7	正應三年七月廿一日	文殿注進状案	甲	6	50	大01	346	10
82	○		徳	2	9	嘉元三年十二月六日	後宇多上皇院宣案	甲	6	52	大01	346	11
83	○		徳	2	9	嘉暦元年五月三日	後醍醐天皇繪旨案	甲	6	52	大01	346	12
84	○		徳	2	9	嘉暦四年七月十三日	後醍醐天皇繪旨案	甲	6	52	大01	346	13
85	○		徳	2	10	建武二年九月五日	雜訴決断所牒案	甲	6	53	大01	346	14
86	○		徳	2	10	建武二年十二月廿五日	布志名雅清選状案	甲	6	53	大01	346	15
87	○		徳	2	10	建武四年十一月廿四日	光嚴院院宣案	甲	6	53	大01	346	16
88	○		徳	2	11	けんほう(建保)三年十二月十六日	大徳御前調状案	甲	6	54	大01	346	17
89	○		徳	2	11	建治三年八月 日	安居院觀空(実忠) 讓状案	甲	6	54	大01	346	18
90	○		徳	2	12	建武二年正月廿五日	雜訴決断所牒案	甲	6	55	大01	346	19
91	○		徳	2	13	貞和五年八月廿七日	沙弥良圓請文	甲	6	62	大01	350	
92	○		徳	2	14	[觀應元年] 五月五日	光嚴院院宣案	甲	6	66	大01	352	
93	○		徳	2	16	觀應元年六月 日	若狭名田庄坂本村文書案	甲	6	67	大01	353	0
94	○		徳	2	18	觀應元年六月十八日	藤原清季・同盛忠進署起請文案	甲	6	67	大01	353	1
	○		徳	2	20		花山院家(兼信) 御教書案	甲	6	69	大01	353	2
	○		徳	2	20		藤原氏女陳状并具書案	甲	6	70	大01	354	0
95	○		徳	2	20	觀應元年九月 日	藤原氏女陳状	甲	6	70	大01	354	1

通番	名田庄 関係文書	未翻刻 文書	影写本冊次		年 月 日	西 曆	文 書 名	大徳寺文書写真帳				刊本文書番号 文書番号 小番号	
			冊次	丁数				函名	冊次	丁数	冊次		文書番号
96	○		徳	2	22	55550550550	名田庄内知見村相承采因	甲	6	72	大01	354	2
97	○		徳	2	23	13230080060	後醍醐天皇繪旨案	甲	6	73	大01	354	3
98	○		徳	2	24	13210030030	後宇多法皇院宣案	甲	6	73	大01	354	4
99	○		徳	2	24	13320030030	光厳院院宣案	甲	6	73	大01	354	5
100	○		徳	2	24	13360090110	光厳院院宣案	甲	6	73	大01	354	6
101	○		徳	2	24	13430070020	光厳院院宣案	甲	6	74	大01	354	7
102	○		徳	2	25	12670120260	安居院觀空(実忠) 讓状案	甲	6	74	大01	354	8
103	○		徳	2	25	12920010200	别当典侍局讓状案	甲	6	74	大01	354	9
104	○		徳	2	26	13240020020	大炊御門三位入道せむせう(実綱) 讓状案	甲	6	75	大01	354	10
105	○		徳	2	26	12890100130	三条実盛去状案	甲	6	75	大01	354	11
106	○		徳	2	28	13500110090	光厳院院宣	甲	6	78	大01	355	
107		○	徳	2	30	55550040270	後光厳天皇繪旨						
108	○	○	徳	2	31	13530120270	後光厳天皇繪旨封紙						
109			徳	2	32	13600045230	花山院覽円(兼信) 寄進状	甲	6	80	大01	357	
110	○		徳	2	34	55550110070	西園寺実俊書状	別	2	103	大01	161	
111			徳	2	35	13530090170	延暦寺煙主(尊胤法親王) 令旨	別	2	89	大01	149	
112	○		徳	2	36	13530120270	後光厳天皇繪旨	別	2	64	大01	130	
113			徳	2	38	13540090280	後光厳天皇繪旨	別	2	65	大01	131	
114	○		徳	2	40	13530120230	花山院覽円(兼信) 寄進状	甲	7	12	大01	365	
115	○		徳	2	42	13600040130	花山院覽円(兼信) 寄進状	甲	7	13	大01	366	
116	○	○	徳	2	44	13600045200	後光厳天皇繪旨						
117	○		徳	2	46	13620070290	柳原忠光奉書	別	2	90	大01	150	
118	○	○	徳	2	48	13620090260	足利義詮御判御教書						
	○		徳	2	50		彈正親王(邦省) 序申状并具書案	甲	7	25	大01	373	0
119	○		徳	2	50	13630050550	彈正親王(邦省) 序申状	甲	7	25	大01	373	1
120	○		徳	2	51	13600040250	花山院覽円(兼信) 讓状案	甲	7	26	大01	373	2

通番	名田庄 関係文書	未翻刻 文書	影写本冊次		年 月 日	西 曆	文 書 名	大徳寺文書写真帳				刊本文書番号 文書番号 小番号		
			冊次	丁数				函名	冊次	丁数	冊次		文書番号	小番号
121	○		徳	2	52	(延文五年) 壬四月十三日	13600045130	花山院寛円(兼信) 諫状案	甲	7	27	大01	373	3
122	○		徳	2	52	(延文五年) 後四月十三日	13600045130	義亨(徹翁) 返状案	甲	7	27	大01	373	4
123	○		徳	2	54	貞治二年十一月十三日	13630110130	藤原行清寄進状	別	2	91	大01	151	
124	○		徳	2	56	貞治参年(甲/辰) 十月廿三日	13640100230	藤原行清洁却状	別	2	93	大01	152	
125	○		徳	2	58	貞治参年(甲/辰) 十月廿三日	13640100230	藤原行清寄進状	別	2	94	大01	153	
126	○		徳	2	60	貞治三年十二月廿三日	13640120230	了淨寄進状	甲	7	42	大01	379	
127	○		徳	2	61	貞治四年(乙/巳) 十一月十八日	13650110180	藤原行清寄進状	甲	7	45	大01	382	
128	○		徳	2	63	貞治五年九月十七日	13660090170	室町幕府奉行人進習打渡状	別	2	95	大01	154	
129	○		徳	2	64	貞治六年七月五日	13670070050	足利義詮御判御教書	別	2	96	大01	155	
130	○		徳	2	66	[貞治六年] 七月十三日	13670070130	若狭守護一色範光書状案	甲	7	56	大01	390	
131	○		徳	2	67	應安六年閏十月十七日	13730105170	室町將軍(足利義満) 家御教書	別	2	97	大01	156	
132			徳	2	69	應安七年九月廿二日	13740090220	室町將軍(足利義満) 家御教書	別	2	98	大01	157	
133	○		徳	2	71	康應元年九月十日	13890090100	室町將軍(足利義満) 家御教書	別	2	99	大01	158	
134	○		徳	2	73	(貞治六年) 七月十四日(酉/剋)	13670070140	若狭守護一色範光書状	別	2	100	大01	159	
135			徳	2	76	嘉吉三年(癸/亥) 八月廿九日	14430080290	鴨氏人長氏請文案	丙	14	64	大02	722	
136	○		徳	2	77	長祿三年十一月七日	14590110070	室町幕府奉行人進習奉書案	甲	7	68	大01	401	
137	○		徳	2	78	文明八年四月十九日	14760040190	室町幕府奉行人進習奉書案	甲	7	70	大01	402	
138	○		徳	2	79	(應安元年) 後六月廿七日	13680065270	僧増賢書状	甲	7	60	大01	393	
139	○		徳	2	81	(康安元・貞治元年) 十月二日	55550100020	後光嚴天皇編旨	甲	7	19	大01	368	
140	○		徳	2	82	(貞治四年) 後九月廿七日	13650095270	藤原行清書状	別	2	102	大01	160	
141	○		徳	2	84	(年末詳) 十一月廿五日	55550110250	僧靜輝書状	甲	7	23	大01	371	
142	○		徳	2	86	[延慶三年九月十八日]	13100090180	後宇多法皇院宣封紙	甲	5	83	大01	319	
143	○		徳	2	87	[延慶三年九月十八日]	13100090180	後宇多法皇院宣(後欠)	甲	5	83	大01	319	
144	○	○	徳	2	88	[延慶三年九月十八日]	13100090180	後宇多法皇院宣裏紙						
			徳	2	90			播磨平位庄重書案	甲	6	23	大01	337	0
145			徳	2	90	ちやおう(貞應) 元年六月廿五日	12220060250	尼願連諫状案	甲	6	24	大01	337	1

通番	名田庄 関係文書	未翻刻 文書	影写本冊次		年 月 日	西 曆	文 書 名	大徳寺文書写真帳		刊本文書番号			
			冊次	丁数				函名	冊次	丁数	冊次	文書番号	小番号
146			德	2	90	12470110210	僧快真置文案	甲	6	24	大01	337	2
147			德	2	91	12850100100	僧快源謙状案	甲	6	25	大01	337	3
148			德	2	92	12990100160	僧泰家謙状案	甲	6	25	大01	337	4
149			德	2	93	13270100010	平位庄鍾家預所職謙状案	甲	6	27	大01	337	5
150			德	2	94	13360090060	光嚴院院宣案	甲	6	27	大01	337	6
151			德	2	94	12160080550	後鳥羽院宇下文案	甲	6	29	大01	337	7
152			德	2	96	13350110190	但馬八代庄安養寺田下地所当注文	甲	6	18	大01	336	
153			德	2	100	13370120270	光嚴上皇院宣	甲	3	14	大01	172	
154			德	2	102	13670100070	後光嚴天皇編旨	甲	3	43	大01	193	
155	○		德	2	104	13250100550	若狭名田庄内田村河成被注帳案	甲	5	92	大01	325	
156			德	2	111	13530020240	足利義詮御判御教書	甲	6	81	大01	358	
157			德	2	113	13550100070	室町將軍(足利尊氏)家御教書	甲	6	85	大01	361	
158			德	3	1	13570060150	三寶院賢俊議状	甲	6	89	大01	363	
159			德	3	3	55550090310	宣祐文書預り状	甲	7	67	大01	400	
160			德	3	4	13580030260	足利義詮御判御教書案	甲	7	31	大01	375	1
161			德	3	5	13600030040	足利義詮御判御教書案	甲	7	33	大01	375	3
162			德	3	6	136000405050	播磨守護赤松則祐代官彈正忠季有請文案	甲	7	32	大01	375	2
163			德	3	7	13600050110	播磨守護赤松則祐請文案	甲	7	34	大01	375	4
164			德	3	8	13630110040	室町將軍(足利義詮)家御教書案	甲	7	35	大01	375	5
165			德	3	9	13660060250	僧賢宣寄進状	甲	7	53	大01	387	
166			德	3	11	13670020250	後光嚴天皇編旨	甲	7	51	大01	388	
167			德	3	13	13670030280	足利義詮御判御教書	甲	7	54	大01	389	
168			德	3	14	13670080130	足利義詮御判御教書	甲	7	57	大01	391	
169			德	3	15	13670100220	足利義詮御判御教書	甲	7	58	大01	392	
170			德	3	17	13730040270	室町將軍(足利義滿)家御教書	甲	7	63	大01	396	
171			德	3	19	13870060200	室町將軍(足利義滿)家御教書	甲	7	65	大01	398	

通番	名田庄 関係文書	未翻刻 文書	影写本冊次		年 月 日	西 曆	文 書 名	大徳寺文書写真帳		刊本文書番号		
			冊次	丁数				函名	冊次	丁数	冊次	文書番号 小番号
171			德	3	19	至徳四年六月廿日	室町將軍(足利義滿)家御教書	甲	7	65	大01	398
172			德	3	21	明徳元年十月二日	室町將軍(足利義滿)家御教書	甲	7	66	大01	399
173			德	3	23	〔文明十一〕閏九月八日	室町幕府奉行人進署奉書	甲	7	71	大01	403
174			德	3	25	〔文明十一〕十二月廿日	赤松氏年寄進署奉書	甲	7	72	大01	404
175			德	3	26	〔文明拾貳〕六月十七日	赤松氏年寄進署奉書	甲	7	75	大01	405
176			德	3	27	〔文明拾貳〕六月十七日	赤松氏年寄進署奉書	甲	7	76	大01	406
177			德	3	28	〔文明十二年〕六月廿五日	赤松政秀遵行状	甲	7	77	大01	407
178			德	3	29	〔文明十二〕七月七日	内海性永渡状	甲	7	78	大01	408
179			德	3	30	明應六年(丁/巳)三月廿八日	播磨大塩庄寺田村内掾帳	甲	7	86	大01	412
180	○		德	3	58	(年未詳)十一月十六日	粟屋元泰書状	甲	8	14	大01	414
181	○		德	3	59	〔永正十八年〕九月朔日	粟屋元泰書状	甲	8	17	大01	415
182	○		德	3	60	(年未詳)十一月十六日	粟屋元泰書状	甲	8	14	大01	414
183			德	3	61	〔大永元〕十月十八日	宝林寺寺官等進署送経請取状	甲	8	23	大01	418
184			德	3	63	〔大永二年〕四月十三日	浦上村宗書状	甲	8	24	大01	419
185	○		德	3	65	〔大永二年〕九月廿七日	中村勝吉書状	甲	8	29	大01	420
186	○		德	3	67	〔大永二年〕十二月廿二日	志賀摩吉久書状	甲	8	31	大01	421
187	○		德	3	69	〔大永四年〕拾月十八日	中村勝吉書状	甲	8	47	大01	429
188	○		德	3	71	〔大永三年〕十月十五日	粟屋元隆書状	甲	8	35	大01	423
189	○		德	3	72	(年未詳)六月朔日	粟屋元隆書状	甲	8	37	大01	424
190	○		德	3	74	(年未詳)九月十九日	粟屋元隆書状	甲	8	39	大01	425
191	○		德	3	76	〔大永三年〕十月十六日	笑鶴軒宗運書状	甲	8	41	大01	426
192	○		德	3	77	〔大永四年〕十月十八日	笑鶴軒宗運書状	甲	8	45	大01	428
193	○		德	3	78	(年未詳)九月十六日	笑鶴軒宗運書状	甲	8	43	大01	427
194			德	3	79	〔大永四年〕十一月廿六日	宗登書状	甲	8	49	大01	430
195			德	3	81	(年未詳)五月十日	宗登書状	甲	8	52	大01	431
196			德	3	83	〔享祿元年〕十月十七日	塩田胤光折紙	甲	8	54	大01	433

通番	名田莊 関係文書	未翻刻 文書	影写本冊次		年 月 日	西 曆	文 書 名	大徳寺文書写真帳		刊本文書番号 文書番号 小番号			
			冊次	丁数				函名	冊次		丁数	冊次	
197			德	3	84	(享禄元年) 拾月十四日	15280100140	加地為利書状	甲	8	53	大01	432
198			德	3	85	(享禄元年) 十月十七日	15280100170	塩田胤光書状	甲	8	56	大01	434
199			德	3	86	(年未詳) 十一月十四日	55550110140	飯尾元連書状	甲	7	85	大01	411
200			德	3	87	(年未詳) 十月三日	55550100030	山本孫六折紙	甲	8	61	大01	436
201	○		德	3	88	(天文三年) 九月十七日	15340090170	志賀摩家吉書状	甲	8	63	大01	437
202	○		德	3	89	(天文三年) 九月十七日	15340090170	中村勝忠書状	甲	8	65	大01	438
203	○		德	3	90	(年未詳) 九月十九日	55550090190	中村勝忠書状	甲	8	67	大01	439
204			德	3	92	(年未詳) 三月廿九日	55550030290	八代治真書状	甲	8	73	大01	442
205			德	3	93	(年未詳) 卯月十二日	55550040120	長浜鐵秀・小寺職隆進署状	甲	8	77	大01	444
206			德	3	95	(年未詳) 四月十二日	55550040120	小寺政職書状	甲	8	75	大01	443
207			德	3	97	(年未詳) 四月廿一日	55550040210	小寺政職書状	甲	8	79	大01	445
208	○		德	3	99	(年未詳) 五月十日	55550050100	中村宗重書状	甲	8	69	大01	440
209	○		德	3	101	(年未詳) 五月十日	55550050100	笑嶋軒宗治書状	甲	8	21	大01	417
210			德	3	102	(年未詳) 五月廿六日	55550050260	八代治光書状	甲	8	71	大01	441
211			德	3	104	(年未詳) 五月日	55550050550	圓山景綱書状	甲	7	80	大01	409
212			德	3	105	(年未詳) 八月廿八日	55550080280	島村弥左衛門書状	甲	8	81	大01	446
213	○		德	3	106	(年未詳) 九月十七日	55550090170	志賀摩家吉書状封紙	甲	8	93	大01	452
214	○		德	3	106	(年未詳) 九月十七日	55550090170	志賀摩家吉書状	甲	8	33	大01	422
215			德	3	108	(年未詳) 十月十六日	55550100160	大塩秀綱・同範治進署状	甲	8	83	大01	447
216			德	3	110	(年未詳) 十月十六日	55550100160	大塩秀綱書状	甲	8	85	大01	448
217			德	3	111	(年未詳) 十月廿四日	55550100240	加地尚次書状	甲	8	58	大01	435
218	○		德	3	112	(天文八年) 十二月廿五日	15390120250	武田信豊書状	甲	8	87	大01	449
219	○		德	3	114	延文五年閏四月 日	13600040550	若狭名田庄村下村阿村文書目錄	甲	7	15	大01	367
220			德	4	1	延文第肆(己/亥) 正月初八日	13590010080	正伝庵法度置文					
221			德	4	10	至徳元年五月	13840050550	徳禪寺住持行事					
222			德	4	21	應安元(戊/申) 年十月十八日	13680100180	徳禪寺法度					